

第 2 次基本計画（施策）進行管理票 （令和 3 年度）

企画部企画課

01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり 頁

01	保健の充実	3
02	医療の充実	5
03	地域福祉の推進	7
04	高齢者支援の充実	10
05	障がい者支援の充実	13
06	防災対策の推進	16
07	消防・救急救助体制の充実	19
08	防犯体制の充実	22
09	交通安全対策の充実	24
10	消費者支援の充実	26

02 子どもを育む環境づくり

11	子育て支援の充実	27
12	学校教育の充実	31
13	青少年の健全育成	36

03 まちを支える人づくり

14	社会教育の充実	39
15	スポーツ・レクリエーションの振興	43
16	市民文化の充実	45
17	人権擁護の推進	47
18	男女共同参画の推進	49

04 まちのにぎわい・活力づくり

19	企業誘致の推進	51
20	農業の振興	53
21	林業の振興	57
22	水産業の振興	59
23	商工業の振興	62

頁

24	勤労者支援の充実	65
25	観光の振興	67
26	広域交流の推進	70
27	国際交流の推進	73

05 まちの快適・うるおい空間づくり

28	土地利用の適正化	75
29	市街地整備の充実	77
30	公園・緑地の充実	79
31	住環境の整備	81
32	良好な景観形成の推進	83
33	交通体系の充実	85
34	港湾機能の充実	88
35	上水道の充実	89
36	下水道等の整備	90
37	資源循環の推進	93
38	生活衛生の向上	95
39	自然環境の保護	98
40	環境の保全	99

06 構想の実現に向けて

41	市民参加の推進	101
42	魅力発信力の強化	103
43	移住・定住の推進	105
44	オーガニックなまちづくりの推進	107
45	協働によるまちづくりの推進	109
46	質の高い行財政運営の推進	111
47	広域行政の推進	115
48	I C T活用の推進	117

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策01 施策01 保健の充実	2. 取りまとめ担当課	健康推進課
--------	--------------------------	-------------	-------

3. 目標	全ての市民が地域社会で活躍するため、健康寿命の延伸や健康格差の縮小をめざすなど健康づくりを推進します。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	特定健康診査受診率	45.6% (平成29年度)	44.1%	42.6%	43.8% (暫定値)		46.0%	
	フッ化物洗口実施小学校数	8校 (平成30年度)	10校	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		全校実施	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	特定健康診査等事業費	120,299	97,424	85,690
	歯科保健事業費内フッ化物洗口事業	740	140	138
	健康増進センター維持管理費	3,252	2,723	2,722
	計	124,291	100,287	88,550

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	107,262	258,202	124,291		489,755
	決算見込額	95,769	251,225	88,550		435,544

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	健康づくりの推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和3年度国保データベース暫定値では、本市特定健康診査受診率の被保険者数が同規模市の中での全国順位は、18位/103市で上位2割以内となっており、全国平均値を上回っていました。また、集団健康診査のインターネット等による事前予約制を開始し、健康診査の待ち時間が改善しました。 ○フッ化物洗口事業については、新型コロナウイルス感染症予防を意識したマニュアルを作成することで中学校2校で実施することができました。また、小学校2校において開始に向け準備を整えていましたが、開始直前のオミクロン株の流行により中止となりました。令和3年度中にわずかでも実施できたことで、次年度以降も事業が継続できる道筋をつけることができました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあり、受診率が低迷しています。 ○新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は講じていますが、学校の規模や状況によって本事業の捉え方が異なるため、全ての学校での再開は難しい状況です。また、市内の感染症流行状況により一時中断や中止となることから、年間を通じて継続することの難しさに直面しています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和4年度から「尿中食塩濃度検査」を実施し健康診査内容の充実を図っていきます。未受診者へは、再勧奨のハガキ通知を実施し、労働安全衛生法での職域健康診査の結果を保険年金課に提出した人へインセンティブを付与する等、受診率向上に向けた事業を実施します。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受けることから、小康状態の時期に速やかに実施できるよう、年度当初から早期に学校との連絡調整及び開始に向けた打合せを進め、少しでも実施回数が増やせるよう努めます。		
8. 主な取組名称②	健康支援体制の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○健康増進センター「いきいき館」のトレーニングマシンについて、安全に利用できる環境を整えるため、老朽化した機器の更新を令和3年10月に行いました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の発生前と比較し、現在の利用者は約半分まで減少しておりますが、今後も安全に長期的に利用できるよう施設の修繕について検討していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ボイラー更新など施設の計画的な改修工事を行っていく必要があります。 ○安全に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者と市が協力してLINEや市ホームページ等を活用した周知により、幅広い年代の利用促進を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方01 基本政策01 施策02 医療の充実	2. 取りまとめ担当課	健康推進課
--------	-------------------------	-------------	-------

3. 目標	乳幼児から高齢者までの市民が安心して医療サービスを受けられるよう、疾病の状況に応じて適切な医療が提供できる地域医療・救急医療体制の整備を図るとともに、地域の医療ニーズに対応した保健・医療従事者の確保をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	医療施設従事医師数	149人 (平成28年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	154人 (平成30年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	-	156人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)		189人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	
	就業看護職員数	729人 (平成28年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	722人 (平成30年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	-	925人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)		890人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	木更津看護学院准看護師課程負担金	2,618	2,618	2,618
	在宅医療・介護連携推進事業	3,881	3,753	2,812
	君津中央病院企業団負担金	656,233	656,233	656,232
	君津中央病院企業団看護師養成事業支援金	2,251	1,126	1,125
	計	664,983	663,730	662,787

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

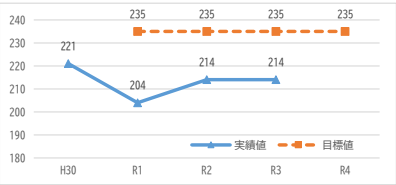
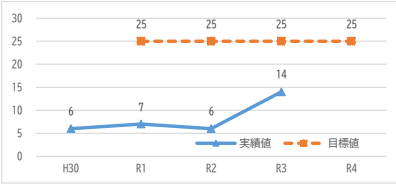
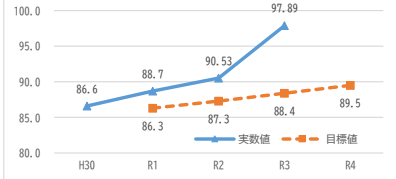
6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	644,879	634,588	664,983		1,944,450
	決算見込額	644,747	633,855	662,787		1,941,389

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	医療体制の整備	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○夜間の初期救急に対応する夜間急病診療所について、今後の設置者や委託先についての方向性を検討し、広域連携による木更津市単独設置が決定しました。 ○君津中央病院の持続可能な経営のため、君津中央病院企業団経営改革委員会及び負担金会議への参画や外部有識者を委員とする運営委員会などからの指摘を踏まえた経営改善を働きかけるとともに、適正な負担割合に基づく財政支援を行いました。 ○君津中央病院看護学校について、高等教育の修学支援制度に基づく減免措置に対する財源の支援（負担金支出）を構成4市にて開始しました。		
10. 主な課題	○高齢化の進行や疾病構造の変化、医療技術の進歩などにより保健医療を取り巻く状況が変化する中、急性期から回復期、在宅医療に至るまで市民一人ひとりが地域内で安心して適切な医療サービスが受けられるよう、医療体制の整備を図るとともに、医療機関と介護サービス事業者の連携を、より推進する必要があります。 ○救急医療については、君津地域4市で構成する君津保健医療圏で一次、二次、三次の救急医療体制を構築し、君津木更津医師会や関係機関の協力のもと維持されていますが、医師の高齢化や医師・看護師不足、輪番制で待機する二次医療機関が12から11に減少するなどにより、体制の維持が厳しい状況となっています。 ○在宅医療・介護連携推進協議会において「多職種連携におけるケアマネジメント」をテーマにした多職種連携研修の開催や「在宅医療と介護マップ」の作成等を行いました。 ○休日の在宅当番医制における小児科医の不足や、夜間の初期救急に対応する夜間急病診療所の充実が求められていますが、夜間急病診療所については建物が老朽化しているため、建替えまたは移転を検討する必要があります。 ○地域の中核病院として、三次救急医療や高度医療、災害時の拠点病院などの役割を担う君津中央病院は、地域に必要な不採算医療を支えています。施設改修や設備更新に多額の経費が見込まれています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○君津木更津医師会や関係機関と連携し、在宅当番医制、夜間急病診療所及び二次待機施設など地域の救急医療体制の維持を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策02 施策03 地域福祉の推進	2. 取りまとめ担当課	社会福祉課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	住民同士のつながりを大切にし、生活支援や自立支援を必要とする人への支援制度を整えるとともに、市民が地域福祉を意識しながら、互いに貢献し、支え合う地域社会の構築をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	民生委員・児童委員数	221人	204人	214人	214人		235人	
	市民後見人受任件数	6件	7件	6件	14件		25件	
	ノンステップバス・ワンステップバス導入率	84.2%	88.7%	90.53%	97.89%		89.5%	

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	民生委員関係費	14,991	13,889	13,889
	民生委員推薦会委員報酬	88	88	88
	福祉会館指定管理料	19,424	19,424	19,424
	福祉会館管理諸経費	6,291	6,412	6,412
	JR蔵根駅整備事業費（計画事業P 5、進捗状況○）	18,289	3,333	17,104
	後見支援事業費	13,825	13,824	13,824
	計	72,908	56,970	70,741

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	62,006	51,848	72,908		186,762
	決算見込額	61,621	51,172	70,741		183,534

8. 主な取組名称①	地域福祉活動の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○市内各地区にコミュニティソーシャルワーカーを設置し、地域住民が抱える生活課題や福祉課題等のニーズを一元的に把握することができました。		
10. 主な課題	○共働きや定年後の就労、また、地域のつながりの希薄化等により、民生委員・児童委員の担い手が不足しています。欠員解消を目指し、民生委員協力員制度も併せ活動しながら、引き続き候補者の選出に努めます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○民生委員協力員の欠員補充に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	生活の安定と援護	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○権利擁護人材を育成するため、第3期市民後見人養成講座を開催し成年後見制度の周知を図るとともに、中核機関を主催とした権利擁護に関する会議を定期的で開催し、権利擁護関係団体との情報共有を図り、市民後見人を含めた地域連携ネットワークの強化に努めました。		
10. 主な課題	○高齢化や生産年齢人口の減少による支援の担い手不足が恒常化しているなか、家族関係も希薄となり家族内に深刻な問題を抱える状況が増えております。庁内外の関係部署・関係機関との連携が一層求められています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域をはじめ関係機関と連携し、成年後見人制度の周知を図り担い手の確保に努めます。		
8. 主な取組名称③	バリアフリーの推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○交通事業者がバス車両を買い替える際にツーステップバスからワンステップバスやノンステップバスに移行しており、導入率は目標設定時より13.69%向上し、目標値を達成しました。ワンステップバスやノンステップバスの普及により、高齢者や障がい者などを含むすべての人の外出促進が期待できます。 ○巖根駅のバリアフリー化に向けて、駅構外の人道跨線橋へのエレベーター設置に関する詳細設計・地質調査を行いました。また、巖根駅東側への改札口設置および駅構内へのスロープ設置等のための基本調査設計をJR東日本が行ったことに対し、補助金を交付しました。		
10. 主な課題	○巖根駅のバリアフリー化に係る工事等の進捗状況の管理及び財源の確保を図ります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ノンステップバスやワンステップバスの導入について、引き続き交通事業者に対し要請し、より充実を図ります。 ○巖根駅のバリアフリー化に向けた駅構外の人道跨線橋へのエレベーター設置等について、円滑に工事が行えるよう引き続きJRと協議・調整します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策02 施策04 高齢者支援の充実	2. 取りまとめ担当課	高齢者福祉課
--------	-----------------------------	-------------	--------

3. 目標	関係機関との連携をさらに深めながら、医療・介護・予防・住まい・生活支援の5サービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム：をより一層推進するとともに、介護保険サービスの充実を図ることで、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりの実現をめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	特別養護老人ホームの待機者数	318人 (H31年1月1日時点)	319人	313人	308人		156人	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>318</td><td>250</td></tr><tr><td>R1</td><td>319</td><td>220</td></tr><tr><td>R2</td><td>313</td><td>190</td></tr><tr><td>R3</td><td>308</td><td>156</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	318	250	R1	319	220	R2	313	190	R3	308	156	R4		
	年度	実績値	目標値																							
H30	318	250																								
R1	319	220																								
R2	313	190																								
R3	308	156																								
R4																										
認知症サポーター受講者数	1,043人 (H29年度実績値)	865人	589人	393人		1,300人	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>659</td><td>1100</td></tr><tr><td>R1</td><td>865</td><td>1150</td></tr><tr><td>R2</td><td>589</td><td>1200</td></tr><tr><td>R3</td><td>393</td><td>1250</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>1300</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	659	1100	R1	865	1150	R2	589	1200	R3	393	1250	R4		1300	
年度	実績値	目標値																								
H30	659	1100																								
R1	865	1150																								
R2	589	1200																								
R3	393	1250																								
R4		1300																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	地域包括支援センター運営事業費	189,040	187,790	187,790
	認知症総合支援事業費（大事業）	6,061	4,646	4,174
	老人クラブ補助事業費・（公社）木更津市シルバー人材センター補助事業費	8,560	8,065	8,065
	一般介護予防事業費（大事業）	5,295	4,076	3,909
	地域医療介護総合確保基金事業補助金・外国人介護人材対策事業費	9	9	0
	計	208,965	204,586	203,938

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	411,445	229,209	208,965		849,619
	決算見込額	410,960	227,821	203,938		842,719

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	高齢者への包括的支援	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○高齢者の身近な相談窓口であるランチを新たに設置し、地域包括支援センターの機能強化を図りました。 ○認知症サポーター養成講座を12回開催したことにより、393人に受講していただき、地域における認知症の理解を深めるための普及啓発を推進することができました。		
10. 主な課題	○認知症サポーター受講者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、認知症サポーター養成講座の機会が極端に少なくなったことにより、減少しました。 また、開催した認知症サポーター養成講座の中には、リモートで実施したケースもありました。様々な状況下でも開催方法などを工夫しながら、認知症の方とその家族を支援するため、裾野を広げる必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○認知症サポーター養成講座や認知症初期集中支援事業の周知・啓発をさらに図ります。 ○医療・介護の関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの深化・推進を目指すとともに、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの更なる機能強化を図ります。		
8. 主な取組名称②	高齢者の社会参加の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○高齢者の生きがいや健康づくりを推進するためシニアクラブの活動に対し支援しました。 ○高齢者が積極的に社会参加できるように木更津市シルバー人材センターの運営に対し支援しました。		
10. 主な課題	○高齢者の人口は増加していますが、シニアクラブのクラブ数、会員数ともに減少傾向にあります。 ○高齢者が積極的に社会参加することができる機会を提供する団体として、シルバー人材センターの安定した継続的運営が必要となります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○シニアクラブ連合会と連携して、シニアクラブの周知を図り、新規クラブの設置や会員の増加に向けて取り組みます。 ○高齢者が積極的に社会参加できるようにシルバー人材センターの周知を図り、会員の確保や受注の拡大に向けて取り組みます。		
8. 主な取組名称③	介護予防の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○介護予防教室として、身近な公民館における自立生活体操の339回にわたる開催（9月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）の開催により、延べ2,410人の高齢者が参加し、介護予防に取り組むことができました。 ○地域住民が主体の通いの場である「きさらづ筋力アップ体操」では、34団体における自主的な介護予防の取組を推進しています。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、介護予防体操の開催中止や開催自粛など介護予防の機会が少なくなったことで、高齢者のフレイル（体・心の衰えや社会的なつながりが弱くなった状態）の進行が懸念されます。 ○外出自粛等のもとでも地域における介護予防の取組を維持・継続するため、正しい感染症対策を伝えるとともに、屋外での身体活動など多面的な介護予防の知識の普及啓発が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域包括支援センターなどを通じて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した介護予防の取り組みについて適切な支援を行います。 ○歯科衛生士や理学療法士等の専門職による健康教育等の実施を図り、介護予防の機会への参加や介護予防の取組の継続を支援することにより、高齢者が生涯にわたる健康づくりと介護予防を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称④	介護保険サービスの充実と適正な給付	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○各公民館や窓口にて、パンフレットや事業所一覧の配布を行いました。介護給付適正化調査員の実績として、ケアプラン点検、医療情報との突合、縦覧点検を行いました。 ○介護給付費通知については、令和3年度に4回送付を行いました。 ○介護保険事業計画に基づき、計画的な施設整備を図っており、令和3年度は8期中に計画する2施設の公募を行い、整備事業者を決定しました。		
10. 主な課題	○高齢者人口が減少する時代の需要も勘案した整備方針を検討する必要があります。 ○外国人介護人材の受け入れを推進するにあたり、事業所で円滑に業務を行うための支援内容の検討が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○窓口や各公民館にパンフレットや事業所一覧の定期的な配布を行い、今後も介護給付適正化調査員とともに適切なケアプラン等の点検を行っていきます。 ○介護保険事業計画に基づき、施設整備を図ります。 ○外国人介護人材も含め介護人材の確保、育成するための取組を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策02 施策05 障がい者支援の充実	2. 取りまとめ担当課	障がい福祉課
--------	------------------------------	-------------	--------

3. 目標	障がい者の人権を尊重し、乳幼児期から高齢期に至るライフステージのすべての段階において、地域社会のなかで自立して自分らしく暮らせるように、福祉サービスによる支援や経済的な支援に取り組むとともに、家族、地域社会、関係団体、行政が連携し、すべての人が相互に認めあうことができるまちづくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	介護給付利用者数	529人 (平成29年度末時点)	555人	541人	537人		600人	
	訓練等給付事業の利用者数	368人 (平成29年度末時点)	383人	450人	427人		400人	
	日中一時支援利用者数	129人 (平成29年度末時点)	130人	97人	155人		150人	
	児童発達支援利用者数	128人 (平成29年度末時点)	148人	249人	243人		170人	

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	障害者自立支援等給付事業	2,100,000	2,217,677	2,178,448
	その他支援事業	34,000	34,000	35,572
	障害児通所等支援事業	650,000	706,250	698,423
	計	2,784,000	2,957,927	2,912,443

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	2,188,613	2,697,947	2,784,000		7,670,560
	決算見込額	2,174,520	2,651,822	2,912,443		7,738,785

8. 主な取組名称①	障がい者への理解促進と相談支援の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○障がいのある人やその家族からのさまざまな相談に対応するために設置した基幹相談支援センター業務を、令和3年4月から基幹相談支援係として体制整備することで、相談支援の更なる充実を図りました。		
10. 主な課題	○障がいのある人もない人も地域で共生した社会を構築するためには、現状において障がいのある人への差別や偏見があるなか、その解消に向け、さらに啓発活動を行い相互理解を図ることが必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域の課題については、当事者団体をはじめ各関係機関で構成する地域自立支援協議会を活用し、解決に向け協議します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	社会参加の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○在宅生活の障がいのある人で就労を希望する人は就労訓練、就労が困難な人は生活指導や作業訓練などを行い、自立を支援しました。 ○地域活動支援センター機能強化や日中一時支援事業などの地域生活支援事業を実施し、障がいのある人の余暇活動支援など社会参加を促進しました。		
10. 主な課題	○就労については、職場において障がいのある人への理解促進が求められているところですが、障がい特性からコミュニケーションが円滑に行われないことがあるため、対人関係を理由に就労の継続を断念することがあります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○就労訓練を経て就労した障がい者に対して、就労が継続し定着できるよう支援します。		
8. 主な取組名称③	生活自立の支援	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○障がいのある人の生活を支援するため、日常生活用具や補装具の支給、自立支援医療費等の支援を行いました。 ○発達が気になる子に対し相談支援、言語訓練・運動訓練等早期療育を実施し、障がいの軽減や生活能力の向上を図りました。 ○障がいのある人やその介護者に障害者手当、障害児特別扶養手当等各種手当の支給により、経済的負担の軽減を図りました。 ○DV等を受けた障がいのある人の避難を迅速に行い、身の安全を確保するなど虐待防止センターの機能強化を図りました。 ○介護者への相談支援を行うとともに、児童発達支援や放課後デイサービスの提供により、障害児への通所支援を行いました。		
10. 主な課題	○障がいのある人の重度化や介護者の高齢化により、「親亡き後」の生活に不安を抱いている現状があり、その解消に向け在宅福祉サービスや居住支援の充実を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○障がいのある人のグループホームの体験利用や緊急時の受入確保など、体制づくりの機能として、地域生活支援拠点等の整備を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策03 施策06 防災対策の充実	2. 取りまとめ担当課	危機管理課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	市、関係機関及び市民の総力を結集し、平時から災害に対する備えと、災害発生時に適切な対応をとれる体制を整え、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	自主防災組織力バー率	47.7% (平成29年度)	49.8%	50.9%	53.17%		70%	
	防災訓練実施地区の割合	37.5% (平成30年度)	37.5%	37.5%	66%		100%	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	災害用備蓄用品購入費	10,536	11,812	11,812
	地域防災計画等策定業務委託費	1,300	1,265	1,265
	同報系無線デジタル化整備事業費（計画事業P 6、進捗状況○）	410,882	375,061	363,736
	宅地耐震化推進事業（防災・安全）（計画事業P 7、進捗状況○）	10,000	0	7,719
	住宅・建築物耐震診断事業（計画事業P 8、進捗状況○）	2,123	1,890	1,888
	住宅・建築物耐震改修事業（計画事業P 9、進捗状況○）	2,400	1,800	1,800
	計	437,241	391,828	388,220

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	266,052	330,790	437,241		1,034,083
	決算見込額	236,777	281,043	388,220		906,040

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	防災対策の強化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○避難所の生活環境の改善や停電時における避難所運営対策のため、非常用発電機、非常用照明、間仕切りパーテーションを購入するとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、段ボール製・ポップアップ式の間仕切りパーテーション、感染拡大防止に効果のある簡易トイレを購入しました。 ○風水害で開設を予定している全避難所で3回、また、市有施設的全避難所で、地震を想定した避難所開設訓練を1回実施するなど、災害発生時に対応するため、市職員による訓練を実施しました。 ○地震時等における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地の被害を防止するため、市内91箇所ある大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画（どの盛土から変動予測調査を行うか決める計画）の策定業務を実施しました。		
10. 主な課題	○国のガイドラインに基づき、大規模盛土造成地について第二次スクリーニング計画の策定を行いましたが、抽出した盛土箇所については、更に詳しい調査（簡易地盤調査）を実施し、第二次スクリーニング調査を実施するか、経過観察とするかを決定する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○引き続き飲料水や保存食等の備蓄を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じたうえで、市職員による避難所開設訓練を実施するなど、平時から災害に対する備えを行います。 ○今後は、抽出した大規模盛土造成地において、簡易地盤調査を実施し、第二次スクリーニングを実施するか、経過観察とするかを決定します。		
8. 主な取組名称②	災害に強い基盤づくり	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○防災行政無線については、令和2年度～3年度の継続事業で、子局66局のデジタル化整備を実施しました。また、令和3年度から4年度までの継続事業で、子局69局のデジタル化整備を実施しています。 ○令和3年度の木造住宅耐震化促進事業にて5回の無料耐震相談会を開催し、13件の一般診断を実施したことから震災に強いまちづくりの推進が図れました。 ○耐震診断後、一定期間経過しても耐震改修を行っていない者に対して、文書等による耐震改修促進を行ったことから、耐震性向上と合わせた既存住宅の質の向上が図れました。		
10. 主な課題	○情報伝達手段が多様化しているため、それに見合った対応を行う必要があります。 ○市民の耐震化意識の向上のため、令和3年度に行った普及啓発事業のフォローアップを行う必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和4年11月末までに市内全ての子局のデジタル化整備を実施するとともに、情報伝達手段の多重化と発信内容の充実を図ります。 ○令和4年度は、4回の無料耐震相談会開催と15件の一般診断及び7件の耐震改修事業の実施を目標に普及啓発を行い、木造住宅耐震化促進事業を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	防災意識の向上	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○自主防災組織については、新たに12団体が設立されました。 ○風水害、土砂災害、地震などの自然災害へのリスクの理解を図るため、「木更津市Web版防災ハザードマップ」を作成し、市ホームページで公開しました。		
10. 主な課題	○市民対象の講演や自主防災実務者講習会（千葉県災害対策コーディネーター養成講座）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見合わせました。 ○自主防災組織は新たに12団体が設立されましたが、カバー率は県内平均を下回っている状況です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○自主防災組織が未設立の地区に対して、設立を促進します。 ○新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じたうえで、自主防災実務者講習会を開催するとともに、広報ささらづをはじめとした広報媒体を活用し、市民の防災・減災に対する意識の啓発を図ります。		
8. 主な取組名称④	災害発生時の迅速な対応	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和元年における台風や大雨における本市や防災関係機関の災害対応の課題を踏まえ、災害リスク等の地域特性や防災活動状況等を地区ごとに整理し、課題の分析・評価、課題解決に向けた方策等を取りまとめた「木更津市地区別防災指針」を策定を行うため、公民館単位の15地区ごとに、防災・減災に向けた課題・ニーズを把握する意見交換会を実施しました。 ○参加条件に見合った職員が講習に参加したことで、新たに被災建築物応急危険度判定士を増員しました。		
10. 主な課題	○災害発生時の被害拡大防止のため、今後も被災建築物応急危険度判定士を育成するための周知を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○意見交換会での意見をもとに、災害リスク等の地域特性や防災活動状況等を地区ごとに整理し、課題の分析・評価、課題解決に向けた方策等を記載した「木更津市地区別防災指針」を策定します。 ○引き続き、被災建築物応急危険度判定士を育成するための周知を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策03 施策07 消防・救急救助体制の充実	2. 取りまとめ担当課	消防総務課
--------	---------------------------------	-------------	-------

3. 目標	火災や事故のほか、近年増加している大規模災害などから、市民の安心・安全な暮らしを守るため、消防力の強化や救急救助体制の充実をめざします。																												
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																					
	救急車現場到着所要時間の短縮	9.3分 (平成29年)	9.6分 (令和1年)	9.7分 (令和2年)	10.7分 (令和3年)		8.5分	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H29</td><td>9.3</td><td>9.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>9.3</td><td>8.9</td></tr><tr><td>R1</td><td>9.6</td><td>8.7</td></tr><tr><td>R2</td><td>9.7</td><td>8.6</td></tr><tr><td>R3</td><td>10.7</td><td>8.5</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>8.5</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H29	9.3	9.1	H30	9.3	8.9	R1	9.6	8.7	R2	9.7	8.6	R3	10.7	8.5	R4		8.5
	年度	実績値	目標値																										
H29	9.3	9.1																											
H30	9.3	8.9																											
R1	9.6	8.7																											
R2	9.7	8.6																											
R3	10.7	8.5																											
R4		8.5																											
消防団員充足率	90.8% (平成29年)	83.0% (令和1年)	76.5% (令和2年)	78.3% (令和3年)		100%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H29</td><td>545</td><td>520</td></tr><tr><td>H30</td><td>504</td><td>540</td></tr><tr><td>R1</td><td>498</td><td>560</td></tr><tr><td>R2</td><td>459</td><td>580</td></tr><tr><td>R3</td><td>470</td><td>600</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>600</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H29	545	520	H30	504	540	R1	498	560	R2	459	580	R3	470	600	R4		600	
年度	実績値	目標値																											
H29	545	520																											
H30	504	540																											
R1	498	560																											
R2	459	580																											
R3	470	600																											
R4		600																											

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	救急救助業務費	7,653	11,942	8,612
	救急救助資機材購入費	4,750	4,750	4,749
	消防活動資機材購入費	4,165	4,151	4,150
	消防職員防火衣一式更新事業費（計画事業P10、進捗状況○）	6,009	5,888	5,888
	（新型コロナ対策）救急救助資機材購入費	0	18,792	18,603
	消防団業務活動費	3,190	3,005	3,001
	消防団活動用資機材購入費	2,300	2,300	2,292
	小型動力ポンプ付積載車購入費（計画事業P11、進捗状況○）	9,500	9,357	9,357
	計	37,567	60,185	56,652

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	90,046	193,482	37,567		321,095
	決算見込額	89,913	193,411	56,652		339,976

8. 主な取組名称①	消防力の整備充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和3年12月に消防職員の防火衣25着を「総務省消防庁の消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に即した防火衣に更新整備しました。 ○令和3年12月に老朽化した消防用ホース等の消防活動資機材を更新整備しました。これらの更新等整備により、隊員の安全性を確保し、より性能の高い装備になったことから、火災等の各種災害現場において安全且つ迅速に災害活動ができるようになりました。		
10. 主な課題	○市民の安心・安全のため、老朽化が激しい又は必要性の高い消防活動資機材等の整備を継続的に進めるとともに、消防車両の整備更新についても、より積極的に推進していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○市民が安心して生活できる地域社会を作るために車両・消防活動資機材等を積極的に整備し、消防力の更なる充実強化を図ります。		

8. 主な取組名称②	救急救助体制の強化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和3年5月に2020東京オリンピック等消防特別警戒に必要なバグボードなどの資器材を整備し、2020年東京オリンピック期間中のテロ災害に備えることができました。 ○令和3年12月に船外機付きの救命用ボート等の救急救助資機材を整備し、今まで対応出来なかった水難事故に対して対応が可能となり、救急救助体制の強化が図られました。 ○令和4年3月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、陰圧・除菌搬送用具アイソレーターをはじめとした様々な救急資器材を整備し、密閉されている救急車内の救急隊員の感染リスクの軽減が図られ、円滑な救急活動が実施できるようになりました。		
10. 主な課題	○令和3年の救急出動（6,720件）は、主に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった市民の行動変容を理由に救急車の要請が少なくなり、令和2年の救急出動（6,824件）に比べて104件減少していますが、感染症を疑う通報事例が多く、感染防止対策に係る装備に時間を要したことにより「救急車現場到着所要時間の短縮」の目標指数を達成できなかった要因としてあげられます。今後、傷病者を医療機関へ搬送する時間の短縮を図るために令和2年2月に策定した「木更津市救急活動時間短縮マニュアル」に基づき、「救急車現場到着所要時間の短縮」だけではなく、救急活動時間全体の短縮を図り、傷病者の負担軽減につながる救急活動に努めます。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○複雑多様化する各種救急救助活動に対応するために、必要な資機材を整備し、更なる救急救助体制の強化を図ります。 ○「木更津市救急活動時間短縮マニュアル」等に基づき「救急隊現場到着所要時間の短縮」だけではなく、救急活動時間全体の短縮を図り、傷病者の負担軽減につながる救急活動に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	火災予防体制の充実強化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○住宅用火災警報器の普及促進については、ひとり暮らしの高齢者宅321件と事業所や学校の自衛消防訓練に出向しまして、6,736人に直接必要性を説明しました。地元のテレビ局であるジェイコム千葉の木更津放送局や、かずさFMのラジオ放送「おっぺせ木更津」にも出演し、動画や音声でも広く住宅用火災警報器の普及促進を図りました。 ○違反対象物の違反是正については、防火対象物の立入検査を95件実施し、重大な違反対象物1件に消防長名で警告書を交付しました。さらに別の1件をホームページで公表予定です。危険物施設の立入検査も114件実施し、設置から40年以上経過した違反状態の地下タンク1件を是正しました。 ○火災原因調査の体制の充実強化については、県消防学校火災調査科に職員2名が入校し調査技術を習得後、消防職員に向けた研修会を開催し、調査員の知識と技術向上を図りました。		
10. 主な課題	○住宅用火災警報器の普及促進については、いまだに未設置の住宅があることから、様々な機会又は広報媒体を活用して住宅用火災警報器の重要性及び必要性の啓発に努める必要があります。 ○違反状態の対象物2件については、継続して違反是正に向け指導していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○住宅用火災警報器の普及促進については、一人暮らし高齢者宅への防火指導、地域の自主防災訓練、事業所の自衛消防訓練等へ出向する機会又はテレビ、ラジオ、インターネット等の多様な広報媒体を活用して、住宅用火災警報器の重要性及び必要性の啓発に努めて設置を促進し、住宅火災の被害の軽減に努めます。 ○違反対象物の違反是正については、事業所に対する立入検査の実施強化を図るとともに、引き続き違反対象物全ての違反是正をめざします。 ○火災原因調査の充実強化については、県消防学校火災調査科に職員を入校させ、最新の調査技術を習得した職員が消防署員向けの研修会を開催することで、署員の調査技術向上を図ります。火災調査にはメーカーの出向を依頼し火災原因不明の判定を削減します。		

8. 主な取組名称④	消防団の充実強化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○機能別分団学生部が6月、11月、12月に市内の保育園で紙芝居を活用した火災予防啓発活動を実施し、木更津市消防団の取り組みをアピールすることができました。 ○令和3年10月に発電機をはじめとする消防団活動資機材を更新整備し、消防団員の活動能力を高め、防災強化体制を充実しました。 ○令和4年2月に第6分団第4部（瓜倉）の老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防団員の活動能力を高め、防災強化体制を充実しました。 ○消防団員の処遇改善を図るため、年額報酬及び出勤報酬の見直しを実施しました。		
10. 主な課題	○様々なイベント等を通じて、消防団の重要性について市民の理解を深め、減少傾向にある団員の確保に努めます。 ○老朽化した消防団装備及び車両の更新を行い、消防団の充実強化に努めます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○大規模災害等に対応するため、役割を特化した機能別分団大規模災害部を令和4年度に発足します。 ○消防団員の活動時の安全と充実を図ることを目的として、継続的に消防団装備及び車両の更新を実施します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策04 施策08 防犯体制の充実	2. 取りまとめ担当課	市民活動支援課
--------	----------------------------	-------------	---------

3. 目標	市民の防犯意識を高め、犯罪の未然防止を図ることで、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	防犯カメラ設置台数	18台	20台	21台	21台 (±0)		22台	<table><caption>防犯カメラ設置台数の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>19</td><td>18</td></tr><tr><td>R1</td><td>20</td><td>19</td></tr><tr><td>R2</td><td>21</td><td>20</td></tr><tr><td>R3</td><td>21</td><td>21</td></tr><tr><td>R4</td><td>22</td><td>22</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	19	18	R1	20	19	R2	21	20	R3	21	21	R4	22
年度	実績値	目標値																							
H30	19	18																							
R1	20	19																							
R2	21	20																							
R3	21	21																							
R4	22	22																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	防犯カメラ設置事業	660	660	0
	防犯ボックス運営事業	649	649	612
	L E D防犯灯整備事業	18,355	18,355	18,354
	防犯活動啓発事業	148	148	130
	計	19,812	19,812	19,096

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	25,042	21,455	19,812		66,309
	決算見込額	23,896	21,177	19,096		64,169

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	防犯活動の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○自主防犯活動団体に対して、防犯ベスト等の防犯活動に必要な物資の支援を行いました。（26団体、120,384円） ○青パト車を使用した防犯パトロールを実施しました。（職員、防犯指導員合わせて年間724回）		
10. 主な課題	○防犯団体の構成員や防犯指導員の高齢化が問題となっております。 ○防犯団体の活動が活発な地区とそうでない地区の偏りが生じています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和2年度から防犯ボックスを設置し、地域の防犯パトロール及び児童、高齢者の見守り活動を行うことで地域防犯力の向上が図れます。 ○PR活動及び防犯団体や学校等との防犯パトロールをさらに強化し、地域で一体となって安心・安全なまちづくりの実現をめざします。		
8. 主な取組名称②	防犯設備の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○自治会等から設置要望があったLED防犯灯について、43基の補助を実施しました。 ○コロナ禍における物流の問題により、部品が揃わず新規設置ができませんでしたが、設置済みの防犯カメラを使用した警察への情報提供を行いました。		
10. 主な課題	○設置費用の一部を自治会等に補助してますが、自治会が無い箇所への設置についての対応を検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○自治会等と協力しながら、地域防犯力の環境整備を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策04 施策09 交通安全対策の充実	2. 取りまとめ担当課	市民活動支援課
--------	------------------------------	-------------	---------

3. 目標	道路交通環境の整備や交通安全意識の高揚等の交通安全対策を推進し、交通事故発生件数の減少をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	交通安全教室	4, 884人	4, 331人	1, 622人	5, 185人		5, 860人	<table><caption>交通安全教室の実績と目標</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>6744</td><td>6744</td></tr><tr><td>R1</td><td>4331</td><td>5000</td></tr><tr><td>R2</td><td>1622</td><td>5200</td></tr><tr><td>R3</td><td>5185</td><td>5400</td></tr><tr><td>R4</td><td>5600</td><td>5600</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	6744	6744	R1	4331	5000	R2	1622	5200	R3	5185	5400	R4	5600
年度	実績値	目標値																							
H30	6744	6744																							
R1	4331	5000																							
R2	1622	5200																							
R3	5185	5400																							
R4	5600	5600																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	放置自転車等対策事業	247	247	245
	市道122号線歩道改良事業（計画事業P12、進捗状況○）	15,000	24,686	14,190
	パークウェイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）（計画事業P13、進捗状況△）	134,912	80,000	69,192
	道路交差点名表示板設置事業	1,200	1,200	1,183
	駐車場管理費（西口）	31,296	26,565	26,376
	交通安全教室等指導事業費	270	270	0
	自転車駐車場指定管理料（木更津市営自転車駐車場の管理）	16,346	16,346	16,346
	交通安全対策事業費（交通災害共済事業）	6	6	5
	計	199,277	149,320	127,537

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	96,697	127,081	199,277		423,055
	決算見込額	92,327	68,745	127,537		288,609

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	交通環境の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○市道122号線歩道改良事業については、歩道改良工事（L＝120.5 m）実施し歩行者の安全確保を図りました。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、関係者協議に不測の期間を要したため、無電柱化工事（管渠L＝70m、特殊部8基）を予算を繰越して実施しています。 ○金田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業者等と今後の整備計画について、協議を行いました。 ○西口駐車場については、照明設備の修繕を行い、また、建物点検を委託業務で行いました。		
10. 主な課題	○市道122号線歩道改良事業については、歩行者の側溝転落が危惧されることから、早期の整備完了が望まれます。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議が必要になります。 ○金田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業の進捗及び周辺の交通渋滞の状況に合わせ、検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○市道122号線歩道改良事業については、引き続き、計画的に整備し、歩行者の安全確保に努めます。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議、調整を実施し計画通り事業の進捗を図ります。 ○道路交差点名表示板設置事業については、一般財団法人日本デジタル道路地図協会と連携し、速やかにカーナビと連動することにより、道間違えによるUターン事故を減らし、交通安全に努めます。 ○西口駐車場については、施設の状況を踏まえ、随時対応をまいります。		
8. 主な取組名称②	交通安全の推進と意識の高揚	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○保育園や小中学校等に向けて交通安全教室を実施しました。（合計56回、5,185人）なお、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施している影響もあり、コロナ禍前の水準に戻つつあります。 ○令和3年4月より新たに友輪株式会社が指定管理者となり、市内の自転車駐車場の管理運営を行っております。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響から安全教室の実施回数の確保や実施方法について検討していく必要があります。 ○放置自転車の撤去については、木更津駅東口における自転車等の放置は依然として確認されることから、さらなる撤去事業の向上が必要となります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○自動車学校や警察、学校等との連携を強化し、交通安全教室の実施回数の確保、対象人数の増加に努めます。 ○放置自転車の撤去については、さらなる撤去事業の向上を図ります。		
8. 主な取組名称③	被害者救済制度の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○交通災害共済については、集团会員および一般会員に分けて募集を行い、交通事故に遭った加入者に対して、利用の申請に応じて適切に対応しました。 ○交通事故相談については、4月を除いて毎月2日間、相談日を設けて相談希望者の相談に応じました。		
10. 主な課題	○交通災害共済については、年々加入者の減少が見られることから、加入者の増加促進に努める必要があります。また、交通事故発生件数が増加傾向にあることから、交通事故防止の啓発にも努める必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○交通災害共済については、加入者の増加促進に努めます。また、交通事故防止の啓発にも努めます。 ○交通事故相談については、今後も相談希望者の相談に適切に応じます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向01 基本政策04 施策10 消費者支援の充実	2. 取りまとめ担当課	市民活動支援課
--------	-----------------------------	-------------	---------

3. 目標	市民が消費生活に関する正しい知識と判断力を身につけ、消費者トラブルを未然に防ぐために、消費者教育の充実を図るとともに、関係団体とのさらなる連携強化をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	中学校及び公民館等における出前講座の開催回数	19回 (平成29年度)	19回	4 回	7 回		25回	<table><caption>グラフデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>R1</td><td>19</td><td>25</td></tr><tr><td>R2</td><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>R3</td><td>7</td><td>25</td></tr><tr><td>R4</td><td>7</td><td>25</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	24	25	R1	19	25	R2	4	25	R3	7	25	R4	7
年度	実績値	目標値																							
H30	24	25																							
R1	19	25																							
R2	4	25																							
R3	7	25																							
R4	7	25																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	消費生活相談員報酬	11,145	9,058	8,036
	消費生活センター事業費	2,855	2,820	2,782
	計	14,000	11,878	10,818

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

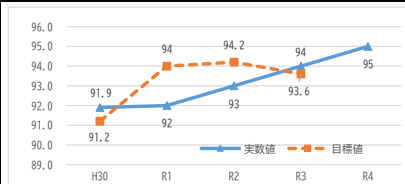
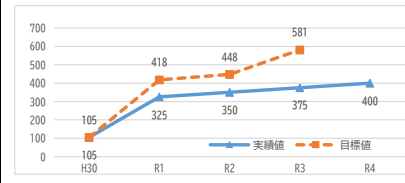
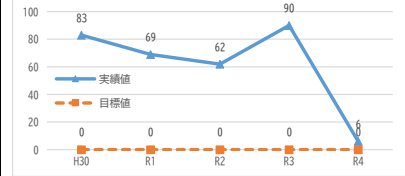
(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	10,593	9,399	14,000		33,992
	決算見込額	9,014	8,570	10,818		28,402

8. 主な取組名称①	消費者の自立支援	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○地産地消やフェアトレードをはじめとするエシカル消費の推進を図るため、11月に一般消費者向けに試食を交えた体験型のトークショーを行いました。 ○訪問販売や電話de詐欺の被害防止のため、訪問販売お断りシールを作成し、配布を行いました。		
10. 主な課題	○コロナ禍により人を集めて講演を行うことが困難であったことから、対策を講じた上での開催やオンライン講座等代替手段を検討する必要があります。 ○市民に対して消費生活センター及び消費者ホットライン（188）の更なる周知を図る必要があります。 ○若年層への効果的な情報発信の仕組みが構築できていないため、安心安全メールやSNSを活用した情報発信方法を研究し、効率的な仕組みの構築を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○多様な機関と連携し、負担なく情報共有が可能となるシステムの構築を目指すとともに、引き続き幅広い世代への啓発活動を行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向02 基本政策01 施策11 子育て支援の充実	2. 取りまとめ担当課	子育て支援課
--------	-----------------------------	-------------	--------

3. 目標	子ども一人ひとりの特性にあった健やかな成長を見守り、子どもを安心して産み育てる環境をつくることで、子育て世代にとって魅力あるまちづくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	この地域で子育てをしたいと思う人の割合 (A:そう思う、 B:どちらかといえばそう思う)	91.9% (A:56.3%、 B:35.6%) (平成29年度)	94.0% (A:59.9%、 B:34.1%)	94.2% (A:60.3%、 B:33.9%)	93.6% (A:58.4%、 B:35.2%)		95%	
	ファミリーサポートセンター事業会員数	105人 (平成29年度)	418人 (令和元年度)	448人	581人		400人	
	保育園の待機児童数	83人 (平成30年4月1日時点)	69人 (平成31年4月1日時点)	62人 (令和2年4月1日時点)	90人 (令和3年4月1日時点)	6人 (令和4年度4月1日時点)	0人	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	子育て世代包括支援センター事業費	5,094	5,094	3,689
	新生児・妊産婦訪問指導員事業費	4,724	4,724	4,520
	発達相談事業費	3,077	3,077	3,047
	特別保育事業費（ファミリー・サポート・センター事業費）	3,560	3,612	3,612
	民間保育園等施設整備費補助金（計画事業P14、進捗状況○）	742,728	189,555	434,107
	請西保育園防音工事（計画事業P15、進捗状況×）	12,303	12,303	0

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

第2次基本計画（施策）進行管理票

	保育士確保対策事業費（計画事業P16、進捗状況○）	47,000	50,141	47,453
	認可外保育施設利用者助成金	10,260	7,587	7,587
	計	828,746	276,093	504,015

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	288,035	518,765	828,746		1,635,546
	決算見込額	281,635	235,326	504,015		1,020,976

8. 主な取組名称①	妊娠・出産・子育て期への切れ目のない支援の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○発達相談事業のひとつである保育園等巡回相談は、巡回相談実施園は37園、142回実施し、令和2年度の34園、111回からさらに増加しました。巡回相談において就学を見据えた働きかけを行い、学校教育課との連携や小学校への引継ぎを行うことも多くあり、就学への切れ目のない支援の足掛かりとなっています。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療機関におけるマタニティ教室の中止等から、妊娠・出産に対する知識、情報の不足などによる妊婦の不安が増大していることから、プレママ講座を1回→2回1コースとし、34回の開催で122名の参加がありました。2回1コースとしたことで、内容の充実に加え、妊婦の方々同士の仲間づくりをすすめ、孤立した育児を予防することができました。		
10. 主な課題	○本市の子育て世代は、転勤などで転入し、親族等の支援者が近くにいない者や、支援者の高齢化により支援が受けづらい状況にある者が多くおり、そのような家庭へのサポートが薄い現状があることから、サービスを導入する必要があります。 ○ネウボラの稼働から4年が経過し、その間に発達支援で関わった児童が就学し、学校生活で困り感を抱えたケースがネウボラの発達相談に再来所するケースが増えていることから、全体の相談件数が増加しています。就学後のケースに対しても切れ目のない支援ができるよう、学校やまなび支援センターと連携した支援体制が求められています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児の支援をすることで、産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減し、安心して子育てできる環境を整えることを目的とした、「産前産後・家事育児サポート事業」を開始します。 ○就学後も切れ目のない発達支援が展開できるように、関係各機関と連携体制のあり方を検討します。		

8. 主な取組名称②	保育・幼児教育の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○保育園の待機児童解消に向け、保育所等整備交付金等を活用した保育園の整備を進め、保育の受け入れ体制の充実及び保育環境の改善を図りました。また、社会福祉法人木更津むつみ福祉会（木更津むつみ保育園）の園舎改築を行い（令和3年度からの2か年事業）、保育環境の構築を図りました。 ○「株式会社スクルトアンドカンパニー」及び「特定非営利活動法人AlonAlon」の保育所設置に向けた整備に対し、補助を行い、受入児童数の増加を図りました。 ○公立保育園において、保育士確保対策事業などの民間活力を活用し、保育士不足の解消を図り、質の高い保育を目指すことに努めました。 ○共働き家庭等の児童の居場所となる放課後児童クラブの運営に対し補助を行い、児童の健全育成を図りました。 ○幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園、認可外保育施設、一時預かり事業等を利用する児童の認定を行い、保育料等の軽減に努めました。 ○木更津市立保育園民営化方針に基づき、令和4年4月に木更津市立中郷保育園及び木更津市立久津間保育園の民営化を実施しました。		
10. 主な課題	○令和3年度には新規保育施設を創設する等、待機児童対策に取り組んでいますが、入園希望者は年々増加しており、待機児童の解消には至っていません。受入児童数の増加に向けた取組を、引き続き実施していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○待機児童解消に向け、民間保育園における保育士の処遇改善や保育士資格の取得を目指す方への修学資金貸付等の実施により、受入れ児童数を増加させるための保育士の確保に取り組めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	子育て家庭・ひとり親への経済的支援の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○子育て世帯に対し、児童手当の給付や子ども医療費の助成による経済的な支援を行いました。 ○母子家庭や父子家庭等の状況に応じ、自立に向けた相談支援、就職に向けた資格取得のための支援、児童扶養手当の給付やひとり親家庭等医療費の助成による経済的な支援を行いました。 ○未熟児として出生した子どもに対して、未熟児養育医療制度に基づく経済的な支援を行いました。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯（児童手当受給者）及びひとり親世帯に対し、臨時特別給付金を支給しました。 ○子育て家庭の食事準備の負担軽減を目的に子育て応援ミールポイント事業を実施しました。アクアポイント1万ポイントを627件付与しました。		
10. 主な課題	○ひとり親家庭に対する経済的支援について、更なる周知を図ります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○子育ての不安や就労問題など様々な事情を抱えているひとり親に対し、経済的負担の軽減を図り、一人一人に寄り添った支援に取り組みます。 ○ひとり親等のファミリー・サポート・センター利用助成事業を開始します。		
8. 主な取組名称④	母子保健の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○産後ケア事業の訪問型を開始し、利用の対象を1年以内の母子に拡充しました。自宅への訪問によるケアの展開ができることで、経産婦も産後ケアを利用しやすくなりました。また、今まで支援が届きにくかった流産、死産を経験した産婦の方への支援のひとつとなりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、里帰りや支援者の往来が難しい現状で出産し、産後ケアを利用した方もおり、ニーズに合った事業展開を図ることができました。 ○低出生体重児（1,500g未満）を育てる家庭が、安心して子どもの成長を見守っていけるよう、リトルベビーハンドブックの配付を開始しました。		
10. 主な課題	○本市の子育て世代は、産後の支援が受けづらい状況にある者が多くいます。産後うつや新生児への虐待予防等を図るため、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する必要があります。 ○妊娠期からの家族ぐるみでの基本的な生活習慣確立にむけた栄養指導の強化を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査（母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握等）に係る費用を助成する、「産婦健康診査事業」を実施することにより、要支援産婦に対して早期支援を行います。 ○プレママ教室の栄養編を実施し、栄養士の監修の下、妊婦に対する栄養指導の充実を図ります。		
8. 主な取組名称⑤	児童虐待・DV等の予防及び対策	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○広報ささらづ6月号へ相談窓口の掲載を行ったほか、カードやステッカーの設置等により啓発活動を行いました。 ○啓発により、ドメスティック・バイオレンス防止及び被害者への相談先の周知を図り、特に立場の弱い女性の権利擁護を図りました。児童虐待に関しては、「木更津市児童虐待対応マニュアル」を改定し、要保護児童対策地域協議会構成機関、庁内関係課、幼稚園、保育園、小中学校等に対して説明をしながら配布しました。また、個別支援会議は26事例（35人）に対して45回開催し、事例に応じた関係機関を召集し、情報共有や課題を明確にし、具体的な支援方針・役割分担を決定し、適宜、情報共有を行い、支援方針の見直しを行いました。		
10. 主な課題	○市内保育施設長会議、小中学校校長会・教頭会・養護教育部会等で連携強化に関する説明会を行うほか、情報の共有化が図れるよう個別支援会議を開催し、役割分担を明確にした上で連携していきます。 ○通告や相談に対し適切な助言をし、問題解決できるよう努めており、今後も継続して対応していきます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○関係機関との連携を強化し、子どもに対する虐待や、配偶者やパートナーからの暴力等に対応するため、相談に対する適切な助言と問題解決を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称⑤	市民活動・民間活力による子育て支援の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○ファミリーサポートセンター事業の会員数が前年比で119人増となりました。また、年間活動件数も令和2年度の612件から令和3年度は1,327件となり、大幅な活動件数の増加を図りました。 ○子育て世代の新型コロナワクチン接種の際の子どもの預かりに対し利用料の助成を行うことで、子育て世代がワクチン接種を受けやすい環境の整備をはかりました。これにより、102件の利用がありました。		
10. 主な課題	○ファミリー・サポート・センター利用数の増加に伴う、提供会員の不足(R4年3月末133人)が課題であり、提供会員を増やしていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ファミリー・サポート・センターの周知及び、育児サポート講習会の周知(育児サポート講習会)とともに受講者数を増やす働きかけを行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向02 基本政策02 施策12 学校教育の充実	2. 取りまとめ担当課	学校教育課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	家庭、地域社会、学校・行政の協働によるトライアングル子育て運動を基本理念に、「確かな学力」を備え、心身共に健康で、「生きる力」を身につけた児童生徒の育成を図り、家庭や地域から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	学校評価満足度	小学校:86.4% 中学校:81.3% (平成29年度)	小学校:84.2% 中学校:83.3%	小学校:86.8% 中学校:87.4%	小学校:87.0% 中学校:88.2%		小学校:90% 中学校:90%	
	学校支援ボランティア登録者数	1,915人 (平成29年度)	1,903人	1,628人	1,592人		2,000人	

(単位：千円)

事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
学校適応指導相談員報酬	7,263	6,315	6,315
外国語指導助手（A L T）報酬	110,527	110,527	108,006
幼児言語指導・発達個別相談員報酬	2,970	2,966	2,966
学校適応指導教室事業費	403	348	330
教育相談教室事業費	1,180	1,175	1,175
研修会運営費	230	164	164
算数・数学検定事業費	768	768	762
幼児言語教室運営事業費	699	669	600
外国語指導助手（A L T）配置事業費	3,167	2,047	1,963

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

5. 施策達成のために要した事業費	まなび支援センター維持補修費	10	2	0
	学校用地取得事業（計画事業P20、進捗状況△）	0	260,000	0
	小学校施設管理費	146,449	128,590	128,590
	小学校維持補修事業費	15,730	15,730	15,624
	小学校施設改修事業費	6,000	6,000	5,999
	木更津第二小学校校内通路整備事業費	29,686	29,686	13,116
	金田小学校グラウンド整備事業費	113,000	45,850	3,795
	金田小学校給食室改修工事（計画事業P20、進捗状況○）	34,743	34,595	33,801
	小学校トイレ改修工事（計画事業P17、進捗状況○）	38,557	38,557	38,514
	木更津市立小学校GIGAスクール校内通信ネットワーク整備事業	109,940	109,940	107,913
	中学校施設管理費	80,418	69,036	69,022
	中学校維持補修事業費	12,700	13,449	13,433
	中学校施設改修事業費	4,400	6,820	6,805
	岩根西中学校渡り廊下改築工事費	19,350	18,135	18,046
	金田中学校グラウンド整備事業費	244,521	4,500	0
	木更津第二中学校駐輪場設置工事費（計画事業P19、進捗状況○）	3,257	2,831	2,831
	波岡中学校屋内運動場屋根改修工事費	41,000	41,000	0
	岩根中学校バックネット改修工事費	9,000	9,000	0
	中学校トイレ改修工事（計画事業P18、進捗状況○）	52,543	52,543	52,456
	木更津市立中学校GIGAスクール校内通信ネットワーク整備事業	48,600	48,600	48,516
	学校水泳指導民間活力導入事業（計画事業P22、進捗状況△）	10,000	10,000	3,498
	心の教室相談員報酬	7,323	7,323	6,945
	スクール・サポート・ティーチャー報酬	53,208	53,208	48,698
	特別支援教育体制整備推進事業費	380	360	280
	心の教育推進協議会事業費	230	80	80
	学校支援ボランティア活動推進事業費	818	760	756

第2次基本計画（施策）進行管理票

学校評価のガイドラインに基づく評価実践研究事業費	90	90	90
特別支援学級設置事業費（小）	280	186	186
環境教育等推進事業費	0	0	0
実用英語検定補助金	2,211	2,374	2,357
特別支援学級設置事業費（中）	120	0	0
オーガニック米普及促進事業（学校給食を活用した有機米供給促進事業）（計画事業P23、進捗状況○）	6,000	7,620	7,620
計	1,217,771	1,141,844	751,252

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	628,517	1,407,989	1,217,771		3,254,277
	決算見込額	377,175	1,193,132	751,252		2,321,559

8. 主な取組名称①	教育内容の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○A L Tを23名雇用し、小中学校へ配置しました。小学校外国語活動の授業に100%の平均配置率を確保し、A L Tとのチームティーチングを通して、外国語教育の充実を図りました。また、中学校においても、A L Tの活用を積極的に進め、コミュニケーション能力の育成に力を発揮しました。 ○子どもたちの確かな学力育成取得に向けて、英語検定受験料の補助や、算数・数学検定の実施、就業密着体験学習などによるキャリア教育推進に努めました。 ○エコクッキングは、令和2年度に中止となった学校（6校）において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を施しながら実施しました。生活習慣病の予防やがん教育に関する授業、保健体育の授業などの工夫・改善を図り、健康・体育・安全指導の充実を図りました。 ○金田小学校の用地取得について、不動産鑑定を千葉県が実施し、令和4年度中の取得に向け千葉県に対し意思表示を行い、予算については繰越を行いました。		
10. 主な課題	○中学校においては、令和3年度より新学習指導要領の全面实施となったため、さらなるA L Tの適正配置と活用の促進に向けて努力していきます。 ○エコクッキングにおいては、S D G s教育の観点から、実施を希望する学校に周知を進めていきます。 ○学習指導要領に基づき、主体的で深い学びが得られるよう、副読本の活用や教育内容・教育環境の見直しを図っていきます。 ○今後、金田小学校及び金田中学校の児童生徒数は増加が見込まれていることから、児童生徒が適正な環境で学習できるよう用地取得や校舎整備等を一体的に行っていくことが必要です。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○A L Tを現状数確保するとともに、適正配置に努めます。また、中学校も含め、A L Tの活用をさらに進めます。 ○確かな学力を育てるために、学習習慣の形成や国際理解教育、情報教育を推進します。 ○金田小学校及び金田中学校の児童生徒数の増加に対応できるように、令和4年度に小学校用地を、令和5年度に中学校用地の取得を段階的に予定していることから、用地取得に向けた手続きを迅速に行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	教育環境の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○日常的に発生する学校教育施設の不具合を適時補修するため、小学校は168件の修繕、11件の工事、中学校は140件の修繕、12件の工事を行ったことにより、安全で快適な学習環境の維持管理を図りました。 ○小中学校の屋内運動場にある全てのトイレを洋式化し、児童・生徒の健康で快適な学校生活の確保、及び災害発生時における避難所の向上を図りました。 ○老朽化が著しかった岩根西中学校の渡り廊下を改築し、安全な学習環境の向上を図りました。 ○学校給食の食材は、近隣市及び千葉県産食材の優先使用に努め、また有機米を全小中学校に52日間提供し、生産者の顔の見える地産地消給食の提供を推進しました。 ○学校水泳指導民間活力導入事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、2校（畑沢小学校・高柳小学校）が休止となり、1校（金田小学校）のみ実施しました。また、民間委託により天候を左右されず、民間の指導員による水泳授業により、児童の水泳力向上にも繋がりました。		
10. 主な課題	○近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管理者と事前共有を図る必要があります。 ○教室数の不足などにより今後の整備が必要となる学校を明確にし、計画的な整備を行っていくための個別施設計画を策定する必要があります。 ○文部科学省から、原則すべての小中学校等について、車椅子使用者用トイレ、スロープ等による段差解消、エレベーターの整備等のバリアフリー化がなされ、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境整備を図るための通知に基づき、施設計画をする必要があります。 ○地元産食材の拡大については、生産者情報をもとに給食用の食材や流通方法を協議し、関係者と生産者との協力体制が必要であると認識しました。 ○水泳指導の委託先の民間施設について、3校以上の受け入れができないため、他校のプールが故障により使用できなくなった場合の対策が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理において対応するなど、より効果的かつ効率的な修繕及び工事の実施に努めます。 ○自然災害の発生が予想される場合には、被害発生前に施設管理者及び業者側と密に連絡を取り、迅速な対応を行えるよう調整を図ります。 ○現状の学校施設の状況、将来的な児童生徒数の動向等を踏まえ、計画的に整備を進めるための計画を策定します。 ○地元産食材の使用に向け、納入可能品目が拡大できるよう、関係者の情報及び方法等を研究します。 ○水泳指導について、令和4年度は3校（畑沢小学校・高柳小学校・金田小学校）によるモデル事業を展開し、成果を確認する。対象校拡大となった際の他民間施設の委託を検討します。		
8. 主な取組名称③	特別支援教育の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○市内の幼稚園、保育園、認定こども園等にて1,094名の年長児の言語検査を実施し、373名の保護者へ結果を通知しました。 ○主に年長児を中心とした在籍者155名に対し1,708回の言語指導を行い、来所相談及び電話相談を728回実施し、保護者の不安解消に努めました。 ○保護者の承諾を得た通所児118名について、ことばの練習の進捗やお子さんの様子など入学予定校への引継ぎを行い、スムーズにスタートできるよう努めました。 ○市内小学校の通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対し、スクール・サポート・ティーチャーを1名増員し、23名としました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、指導枠を削減せざるを得ず、昨年度と同様に、以前に比べ指導回数が減りました。 ○発音練習よりも発音以外の課題や集団生活での心配面があるケース、他機関との併用を望むケースが増え、また、保護者対応に時間を要するケースが増えており、対応に悩むことがありました。特に、特別支援をすすめるケースについては、保護者の気持ちに寄り添いながら慎重に取り組む必要がありました。 ○希望する学校すべてに、スクール・サポート・ティーチャーの配置をできるように取り組みます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○初診については、より早く通所する必要のあるお子さんが確実に通所できるように、保護者への働きかけを各園へお願いしたり、1日の初診数を増やして対応します。 また、緊急を要しない年中児以下の相談の場合はネウボラの子育て相談を紹介します。 ○様々な課題を持つお子さんや保護者に対応するため、定期的に事例研修を行いながら専門知識を高めていきます。また、職員間で共通理解することで同じ歩調で対応できるようにし、必要に応じて複数の職員で対応します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称④	生徒指導等の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○さまざまな問題を抱えた児童生徒と保護者・学校関係者を対象に、教育相談教室を56回開催し、延べ154回の相談を実施しました。専門家との相談を通して、解決のための方向性のアドバイスをいただきました。 ○学校適応指導教室あさひ学級では38名の児童生徒に対し、学校復帰に向けた適応指導を進めました。 ○道徳の学習や、生徒指導・教育相談、スクールカウンセラー・心の教室相談員の効果的な活用をしました。		
10. 主な課題	○教育相談教室では、時期によっては希望者が多く、適切な時期にご案内できないことがありました。 ○あさひ学級では、集団への抵抗が強いことから、通級日数が伸び悩むケースが多くありました。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○教育相談教室に関しては、計画的な時期設定に努めるとともに、相談内容によって適切な相談者をお勧めできるよう、より良いマネジメントに努めます。 ○あさひ学級においては、個の特性や家庭環境に配慮しながら、スモールステップで適応指導を進めます。		
8. 主な取組名称⑤	開かれた学校づくりの推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染対策等を踏まえ、消毒作業やリモートでの読み聞かせ活動等、今までにない新しい取り組みを学校支援ボランティア活動に取り入れることができました。 ○研修や交流集会等については、Google Meet（ビデオ会議）を活用し、オンラインで実施することができました。 ○一人一台端末の普及により、各学校では運動会や体育祭、文化祭等の行事や授業の様子など、保護者に向けてリモートで配信し、児童生徒の活動の様子を公開することができた。また、市の公式SNS等で、市内の学校行事や各種大会での活躍の様子等を掲載し、情報発信を活発に行うことができました。		
10. 主な課題	○学校支援ボランティア活動については、登録者の高齢化や登録者数の減少が喫緊の課題である。また、社会情勢や地域の環境の変化、各学校の実態にあわせて、活動の見直しが必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○研修や実践発表会はリモート開催により、各学校やボランティアコーディネーターの負担を軽減します。 ○社会情勢を踏まえつつ、学校支援ボランティア活動の機会を増やしていくことで、活動に対する地域や保護者の関心を高め、登録者数を増加します。 ○今後もSNS等を活用し、情報発信を活発に行い、開かれた学校づくりを進めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向02 基本政策03 施策13 青少年の健全育成	2. 取りまとめ担当課	生涯学習課
--------	-----------------------------	-------------	-------

3. 目標	青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	キャンプ場利用者数	2,149人 (平成29年度)	1,589人 (令和元年度)	227人 (令和2年度)	140人 (令和3年度)		2,400人	
	放課後子ども教室の開設数	6 教室 (平成30年度)	6 教室 (令和元年度)	6 教室 (令和2年度)	6 教室 (令和3年度)		8 教室	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	青少年問題協議会委員報酬	128	100	44
	青少年事業費	275	240	240
	生き生き子ども地域活動促進事業費	810	810	623
	放課後子供教室推進事業費	2,143	1,265	340
	成人式事業費	613	613	535
	各種団体運営補助金	2,513	2,513	2,313
	キャンプ場指定管理料	5,371	5,371	4,362
	青少年指導関係運営協議会委員報酬	96	96	96
	青少年指導関係費	1,084	1,084	1,045
	社会教育指導員報酬	3,544	3,758	3,273
	計	16,577	15,850	12,871

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	16,420	15,471	16,577		48,468
	決算見込額	15,436	11,681	12,871		39,988

8. 主な取組名称①	青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○6教室ある放課後子ども教室（うち、1教室が同じ学校敷地内にある学童クラブと連携している一体型）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により休止せざるを得ない状況となりましたが、屋外公園で活動している1教室は実施することができました。また、実施のなかった他5教室については、現状把握と来年度の活動再開に向けて事業内容・運営方法等を検討するなど、連携の強化を図りました。 ○中学校区を単位とする地区住民会議においては、環境整備等のボランティア活動、また、昔遊び体験といった地域交流の場を設けました。 ○市及び千葉県から委嘱された青少年相談員が行う地区活動において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため子どもたちの参加が制限される中、公民館イルミネーションや地元施設の花壇整備を行うなど、地域活性化のための活動にも取り組みました。		
10. 主な課題	○青少年の健全育成のため学校PTAや、各地区の公民館、まちづくり協議会、市政協力員、青少年育成団体（青少年相談員や子供会等）などの地域ぐるみの協力連携が必要です。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○子どもたちの居場所づくりや地域の教育力の向上を図るために、担い手となるボランティアの育成に取り組みます。		

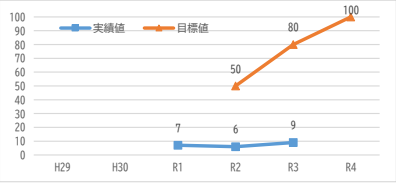
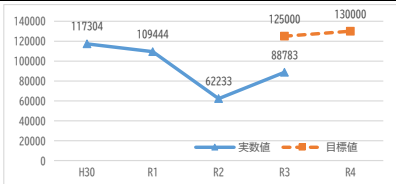
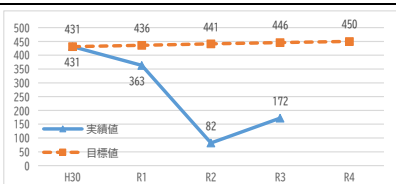
8. 主な取組名称②	青少年育成事業の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、青少年育成事業が実施できなかったこと、更にキャンプ場利用者も減少したことから、体験学習の推進については困難な状況でありましたが、キャンプ場の利用促進については、YouTubeやラジオ等の媒体を活用し幅広く周知を行うことができました。 ○成人式については、新成人で構成する実行委員会を組織し、式典の運営や式典後のアトラクションの企画・運営を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、従来とは異なる対応（式典時間の短縮、組数を増やす等）となりましたが、運営は円滑に進み、当日従事した職員や参加した新成人からも一定の評価をいただきました。なお、今後の成人式運営の基礎も再構築することができました。		
10. 主な課題	○青少年育成事業を推進する上でボランティアや地域の担い手不足が課題です。 ○開設から30年以上経過したキャンプ場の老朽化した施設の改修やトイレの洋式化などが必要です。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○今後も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなかで、青少年の新たなネットワークづくりのための事業に取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	青少年を取り巻く環境浄化と非行防止	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○青少年及び保護者等からの電話相談が106件、来所相談が15件、メール相談が44件あり、さまざまな問題に悩む青少年及びその保護者等への支援を行いました。また、12月には青少年健全育成キャンペーンとして、愛の一声運動を木更津市青少年補導員連絡協議会と合同で木更津駅前で行い、薬物の危険性やSNSの使い方についての啓発物を配布しました。更に、青少年指導関係運営協議会を3回実施し、関係機関、団体、有識者との連携を図りました。		
10. 主な課題	○さまざまな問題に悩む青少年やその保護者の支援を行い、青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関、団体、有識者との連携のもと実施します。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○関係機関等と連携して青少年やその保護者の支援及び青少年の非行防止活動を継続します。また、ICTを安全に活用するための啓発活動及び注意喚起を行うことでネットリテラシーの向上に努め、インターネット上の諸問題を未然に防ぐ取組を進めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向03 基本政策01 施策14 社会教育の充実	2. 取りまとめ担当課	生涯学習課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	市民一人ひとりが生涯にわたり自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう生涯学習社会の実現をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	出前講座の実施回数	未実施	7回	6回	9回		100回	
	図書館入館者数	120,666人	109,444人	62,233人	88,783人		130,000人	
	家庭教育支援事業の実施回数	431回	363回	82回	172回		450回	

(単位：千円)

事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
きさらづ出前講座事業費	40	40	40
図書館維持管理費	12,867	11,491	11,215
図書購入費	12,000	17,500	17,500
図書館電算システム関係費	8,908	8,937	8,895
各種行事費	173	153	153

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

5. 施策達成のために要した事業費	各種教室等開催費	3,085	3,005	2,819
	サタデースクール事業費	835	783	650
	高齢者教室開催費	453	453	440
	公民館各種設備整備費	5,400	5,400	5,400
	公民館管理運営費	12,300	12,048	11,869
	公民館維持補修費	8,530	8,530	8,507
	図書館維持管理費	1,196	1,106	1,089
	図書館施設維持補修事業費	200	200	192
	波岡公民館空調改修事業費	34,300	29,034	29,033
	岩根公民館浄化槽改修事業費	0	19,000	4,324
	図書館耐震対策事業費（計画事業P24、進捗状況○）	0	4,000	0
	公民館耐震対策事業費	150	121	121
	計	100,437	121,801	102,247

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	29,073	61,376	100,437		190,886
	決算見込額	28,642	60,349	102,247		191,238

8. 主な取組名称①	生涯学習・社会教育推進体制の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○社会教育委員会議は定例会4回を開催し、社会教育機関の運営などについて協議しました。また、生涯学習推進協議会を2回書面開催し、生涯学習関係事業等について意見をいただきました。		
10. 主な課題	○市民の学習活動を支援するため、さらなる職員の力量形成に取り組む必要があります。 ○今後の社会教育施設のあり方について検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○広く市民の声を踏まえ、関係部署と協議しながら、将来的な生涯学習・社会教育推進体制の方向性や、公民館等社会教育施設のあり方を検討します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	生涯学習・社会教育活動の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○生涯学習フェスティバルは記念講演会及び少年少女の主張大会と、オンライン（Zoom）を活用したツナガルフェス2021を開催しました。ツナガルフェスでは若者が木更津の現在と未来について話し合い、考える良い機会となったとともに、活動・団体・個人間の繋がりを醸成することができました。 ○出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響で利用する団体に限りがありましたが、利用団体には大変好評であり、市政について理解を深めてもらうことができました。		
10. 主な課題	○家庭教育推進協議会は2回、市民公開講座はオンライン動画配信で3回開催しました。 ○出前講座については、市民の認知度を高めるための広報活動の強化が更なる課題です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○社会の変化に対応した効果的・効率的な事業が展開できる体制づくりに取り組みます。		
8. 主な取組名称③	図書館サービスの充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○資料の収集は、木更津市立図書館資料収集要綱の規定に基づき実施し、年度当初に具体的な購入の割合を定め、11,900冊の資料を収集し、整備し、提供しました。 また、各種データベースについては、館内の4台の閲覧用パソコンを活用し、ヨミダス、D1-Law、官報、国立国会図書館デジタルコレクションなどの情報提供を行うとともに、県内外の公共図書館や大学図書館の情報資産を活用した司書による専門的なレファレンスサービス（調査・研究）の充実に努めました。 ○点字図書については、きさらず点訳の会との協働により、新たに46タイトルの追加を行いました。 録音図書については、サピエ図書館よりダウンロードし、30タイトルの追加を行いました。 大活字本については、54冊の追加を行いました。 ○小中学校の読書相談員研修会へ出席し、図書館の利用案内や、読書相談、本の修理、調べもの学習や授業の補助となる本を一定期間まとめて貸し出す「特別貸出」（調べ学習支援2,846冊）を実施し、教職員や読書相談員との連携を進めました。 ○電子図書サービスについては、令和3年1月13日からサービスを開始し、令和4年3月末日現在の登録者数は1,303名で、貸出冊数は4,937冊となっています。 ○公民館図書室に配本サービスを実施し、地域の読書環境の充実とサービスの向上が図られました。		
10. 主な課題	○読書相談員や担当教員による読書活動への取組については、読書プランの適切な運用ができるよう図書館と学校の継続した連携が必要です。 ○調べ学習において、各学校で単元が重なり、同時に同様の図書が必要となることから、学校間の調整が必要です。 また、貸出方法や返却方法については、要望のある巡回車の活用など、学校、学校教育課と連携し、検討することが必要です。 ○電子図書サービスについては、年代により登録者数にばらつきがあるため世代に応じた魅力あるコンテンツを充実させていく必要があります。また、小・中学校の児童・生徒の電子図書活用について検討を要します。 ○公民館図書室においては地域のニーズに即した資料の提供や計画的な配本サービスが求められます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○資料の収集は、引き続き同要綱の規定に基づき実施し、年度当初に購入の割合を定め、利用者の要望を考慮しつつ図書館に配置の資料を年間1万冊程度収集し、整備し、提供します。 また、所蔵のない資料については、購入するほか、相互貸借により対応を図ります。 さらに、引き続き司書による専門的なレファレンスサービス（調査・研究）を実施します。 ○引き続き点字図書、録音図書、大活字本、マルチメディアデジタイズ図書を計画的に収集し、読書にハンディキャップのある利用者に対するサービスの充実を進めます。 ○引き続き小中学校に対し特別貸出を実施するとともに、学校向けの図書館案内の配布や小中学校の読書相談員研修会へ出席等、教職員や読書相談員との連携に努めます。 ○公民館においては、家庭教育学級をはじめ公民館事業と連携した取り組みを通して読書推進、利用者の拡大を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称④	公民館活動の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○公民館利用者層の拡大を目的に、全公民館で取り組んだ「てくてく木更津わくわく散歩」や「さとやまアドベンチャー」には、これまで公民館活動に参加したことのない人も多く参加しました。 ○コロナ禍での取り組みとして、主にデジタル弱者を対象とした「スマホ講座」を、全公民館で開催し、多くの参加者にすることができました。 ○全公民館でオンラインによる予約システムを導入し、市民の利便性を高めることができました。 ○地域自治の推進を図るため、区長会や地域の関係機関・団体等と連携・協力してまちづくり協議会の設立や既存地区の活動に対する支援を行いました。 ○家庭教育支援については、開催期間は限られたものの各成長段階に応じた家庭教育学級を全公民館で地域の実情に応じて開催しました。また、学級の様子などを、デジタル技術を活用し、昨年度に続き、市Y o u t u b eチャンネル上にて毎月1回『スクスク動画』作成に取り組みました。		
10. 主な課題	○さらなる利用者層の拡大を図るための、「あらゆる世代の居場所づくりに向けた公民館活動」を実現していく必要があります。 ○スマホ講座には多くの関心が寄せられたため、初心者講座をはじめ、デジタル社会に対応するため、様々なニーズに応えた取り組みの充実が必要です。 ○公民館のオンライン予約については、市民への周知、入力方法など、システム面、運用面での課題が山積しています。 ○まちづくり協議会の事務局として運営や活動を支援するとともに、未設置地区の早期設立に向けて、市民活動支援課と連携を密に図りながら取り組む必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○アフターコロナを迎え、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をしながら、「対面」での社会教育、生涯学習、地域活動を展開し、改めて地域コミュニティの再生、地域でのつながりづくり、人づくりを進めていく中で、持続可能な地域を創出する機運を高めていきます。 ○デジタル社会への対応に向けて、デジタル技術を活用した学級・講座を展開し、特に「デジタル弱者」に寄り添う活動を充実していきます。 ○オンライン予約システムの運用が、広く市民に浸透するよう努めていきます。		

8. 主な取組名称⑤	生涯学習・社会教育施設の整備	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○安全で快適な学習環境を提供するため、63件の修繕、9件の工事を行い、公民館や図書館の適正な維持管理に努めるとともに迅速な修繕や工事を行い、老朽化した備品の計画的な更新を行ったことにより、出前講座を開催するために必要となる開催場所の確保や図書館のさらなる利用促進を図ることができました。 また、本取組に係る整備を遅滞なく、かつ迅速に行うことにより、学習環境の充実が図られ、安全かつ快適な『学習機会の場』を多くの方々へ提供することができました。		
10. 主な課題	○施設等の不具合が発生し、多数の施設管理者から修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、請負会社の人手が足りず、速やかに改修工事等を行えないケースも見受けられました。 また、近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管理者と事前共有を図る必要があるものと考えます。 ○引き続き、老朽化した備品の管理・更新に取り組む必要があります。 ○コロナ禍への対応として、施設の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のための整備を継続していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理において対応するなど、より効果的かつ効率的な修繕及び工事の実施に努めます。 また、日頃より、気候に係る情報の収集に努め、悪天候により自然災害の発生が予想される場合には、被害発生前に施設管理者及び業者側と密に連絡を取り、被害時に迅速な対応を行えるよう調整を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向03 基本政策02 施策15 スポーツ・レクリエーションの振興	2. 取りまとめ担当課	スポーツ振興課
--------	-------------------------------------	-------------	---------

3. 目標	市民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツ活動に参画できる環境づくりを推進し、ライフステージに応じた元気でいきいきと暮らすことができる活力あるまちの実現をめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	市民(20歳以上)の週1回以上のスポーツ実施率	45% (平成29年度)	45% (令和元年度)	45% (令和2年度)	45% (令和3年度)		65% (2022年度)	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>45</td><td>65</td></tr><tr><td>R1</td><td>45</td><td>65</td></tr><tr><td>R2</td><td>45</td><td>65</td></tr><tr><td>R3</td><td>45</td><td>65</td></tr><tr><td>R4</td><td>65</td><td>65</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	45	65	R1	45	65	R2	45	65	R3	45	65	R4	65	65
	年度	実績値	目標値																							
H30	45	65																								
R1	45	65																								
R2	45	65																								
R3	45	65																								
R4	65	65																								
市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	225,047人 (平成29年度)	210,298人 (令和元年度)	103,228人 (令和2年度)	119,133人 (令和4年度)		275,000人 (2022年度)	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>210,298</td><td>275,000</td></tr><tr><td>R1</td><td>103,228</td><td>275,000</td></tr><tr><td>R2</td><td>119,133</td><td>275,000</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>275,000</td></tr><tr><td>R4</td><td>275,000</td><td>275,000</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	210,298	275,000	R1	103,228	275,000	R2	119,133	275,000	R3		275,000	R4	275,000	275,000	
年度	実績値	目標値																								
H30	210,298	275,000																								
R1	103,228	275,000																								
R2	119,133	275,000																								
R3		275,000																								
R4	275,000	275,000																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	ちばアクアラインマラソン事業費（計画事業P25、進捗状況○）	0	1,700	1,697
	体育施設大規模改修事業（計画事業P26、進捗状況○）	0	12,419	12,419
	江川総合運動場拡張整備事業費（計画事業P27、進捗状況○）	456,551	456,394	7,723
	スポーツによる地域活性化推進事業費	4,572	3,993	3,909
	全国大会等出場奨励金事業費	2,000	2,000	1,590
	計	463,123	476,506	27,338

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	208,429	40,985	463,123		712,537
	決算見込額	414,919	40,867	27,338		483,124

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	スポーツ・レクリエーション活動の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○成人のスポーツ実施率の向上に向け、子どもの遊びを通じて、親の運動習慣も身に付けさせる、子育て世代を対象にした「親子運動あそび教室」と、スマートフォンアプリを活用し、チェックポイント(市内外の観光施設や史跡等)を巡り獲得ポイントを競う、サイクルツーリズムの観点を取り入れた「サイクリング周遊イベント」を開催しました。 ○競技力向上を図るため、選手強化の支援に努め、全国大会出場者に全国大会等出場奨励金を交付しました。 ○ちばアクアラインマラソン2022の開催に向け、マラソン初挑戦のランナーを技術面・食事面からサポートする企画の実施や各種プロモーション活動を行い、市民に対し周知を図りました。		
10. 主な課題	○参加者のアンケートを検証し、より充実した内容で各種イベントを開催します。 ○全国大会等出場奨励金に関しては、より一層の周知を行い、交付数の増加を図ります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○イベント開催時だけでなく、運動を継続して取り組むよう、市民に働きかけていきます。 ○より多くの市民に参加してもらえるよう、体験機会の提供やより一層の情報発信を行います。また、指導者の育成にも取り組みます。		
8. 主な取組名称②	スポーツ・レクリエーション施設の整備	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○令和3年12月より、江川総合運動場の野球場整備工事に着手しました。 ○貝渚庭球場の照明を水銀灯からLED照明に改修しました。		
10. 主な課題	○引き続き、江川総合運動場の野球場整備を進めるとともに、令和4年10月よりサッカー場整備工事に着手する予定です。 ○市営体育施設の老朽化・防災の面における点検と整備を強化します。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○野球場・サッカー場の両施設ともに令和5年度の供用開始をめざします。 ○体育施設大規模改修については、令和4年度は柔剣道場床面の改修工事を実施します。		
8. 主な取組名称③	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした地域づくりの推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○ナイジェリア選手団事前キャンプ受入を通じて、練習見学会等の実施によりナイジェリア選手団との交流を深めることで、ナイジェリアとの今後に繋がる関係を構築できました。 ○オリパラ推進校でのスポーツ体験や教室等を実施し、市民、児童等が新しいスポーツに触れる機会を創出し、更なるスポーツへの関心向上に繋げることができました。		
10. 主な課題	○事前キャンプ受入等によりナイジェリアと作り上げた関係性をどのように活かしていくかを検討していく必要があります。 ○広く子どもたちのスポーツへの関心を向上するために、どのような取り組みを行っていくかを検討していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」など、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に取り組めるスポーツの普及や、中学生を対象としたトップアスリートによる「夢の教室」を開催し、共生社会の実現に向けた取組みや地域の活力として受け継がれるよう取り組みます。 ○ナイジェリア連邦共和国とは、野球用具等の寄贈やサッカー等のスポーツ交流のほか、民間レベルのさまざまな分野での交流が促進されるよう取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向03 基本政策03 施策16 市民文化の充実	2. 取りまとめ担当課	文化課
--------	----------------------------	-------------	-----

3. 目標	歴史・文化・芸術にふれあう機会を市民に提供し、市民が芸術文化活動を行う環境を整備することで、ふるさと意識や愛着を育み、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	芸術文化に親しむまちづくり振興事業コンサート・アートイベント実施数・入場者数	3回 900人 (平成30年度)	3回 895人	4回 59人	9回 525人		4回 1,200人	
	郷土博物館金のすず入館者	9,024人 (平成30年度)	0人	0人	5,212人		12,000人	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	芸術文化に親しむまちづくり振興事業費	1,075	805	805
	金鈴塚古墳保護事業費(計画事業P28、進捗状況○)	3,726	3,660	3,621
	上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業(計画事業P29、進捗状況○)	2,791	1,704	1,669
	木更津市史編さん事業費	30,842	30,841	30,841
	上総金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業費	143	135	135
	計	38,577	37,145	37,071

7. 施策目標の達成(進捗)状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	137,215	163,400	38,577		339,192
	決算見込額	69,901	161,208	37,071		268,180

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	芸術文化活動の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○芸術文化に親しむまちづくり振興事業に係る音楽コンサート（千葉県警察音楽隊）を12月に市民会館中ホールで開催したほか、中心市街地活性化基本計画のソフト事業であるアート制作ワークショップ「アートとふれあおう」を4日間（計8回：参加者126名）開催し、良質な音楽及びアートに触れ親しむ機会の創出を図ることにより、芸術文化振興に寄与しました。 ○中規模ホールの整備については、令和2年度に策定した中規模ホール整備基本計画を踏まえ、他の公共施設との複合化について検討を行いました。		
10. 主な課題	○市民会館中ホールは音響反射板や照明（スポットライト）器具がなく、音楽コンサートや演劇等のイベントには適していません。また、舞台、出演者控室、ロビーが狭小であり、出演者数及び入場者数に限りがあります。市民が身近に芸術文化に触れあうことができる環境づくりに取り組み、芸術文化の振興・普及を図っていく必要があります。 ○中規模ホールの整備については、管理運営計画の策定、国庫補助事業等の特定財源の確保や、他の施設との連携等が課題です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○イベントごとに音響反射板・照明器具のレンタルあるいはアカデミアホールの活用を考えます。 ○中規模ホールの整備については、中規模ホール整備基本計画を踏まえ、引き続き他の公共施設等との複合化、財源等についての検討、調整を行います。		
8. 主な取組名称②	ふるさと文化の継承	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○金鈴塚古墳出土品再整理報告書の普及版『金鈴塚古墳出土品ガイドブック 煌めく金鈴塚』を刊行しました。 ○木更津市史編さん事業については、千葉県補助金や財団法人の助成を受け、木更津市史デジタルアーカイブ公開事業を行うとともに、木更津市史公開講座の会場実施及び動画配信を行いました。また、刊行物は、「木更津市史研究」第5号、「木更津市史編さんだより」第6号を刊行しました。		
10. 主な課題	○木更津市史編さん事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で調査を一部制限している部分があるため、感染防止対策を十分にして事業を実施する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○改修工事については、令和3年度をもって予定どおり終了しました。今後は本事業の成果を利用して博物館における教育普及活動等で、郷土の至宝の周知に努めます。 ○木更津市史編さん事業については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をして実施します。また、公開講座については、動画配信による実施を検討します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向03 基本政策04 施策17 人権擁護の推進	2. 取りまとめ担当課	市民活動支援課
--------	----------------------------	-------------	---------

3. 目標	人権尊重への理解を深め、人権問題に対する正しい知識を広めることにより、一人ひとりの多様性を認め合い、ともに支え合う社会をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	小中学校での人権教室等の実施校数	5校 (平成29年度)	6校	2校	6校		6校	
	人権教育研修会の参加者数	19名 (平成29年度)	0名	21名	20名		50名	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	法律相談業務委託費	1,276	1,276	1,276
	公聴相談諸経費	1,264	1,185	1,181
	社会教育振興事業費	30	30	30
	計	2,570	2,491	2,487

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

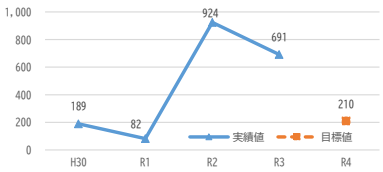
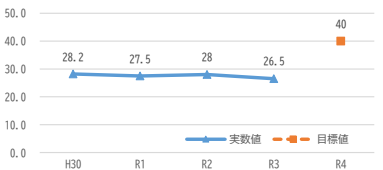
6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	2,532	2,515	2,570		7,617
	決算見込額	2,489	2,514	2,487		7,490

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	人権意識の高揚	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○市民の暮らしの中で起こる、離婚・相続等の家庭内の問題や、地域での近隣間のもめ事などに対し、人権・行政合同相談29件及び法律相談221件を実施しました。 ○人権擁護委員が小学校6校で人権紙芝居、人権教室、人権講話等を実施し、児童454名の参加がありました。		
10. 主な課題	○インターネット上での人権侵害やいじめ、虐待等の様々な人権問題・差別意識を解消するため、人権に対する正しい知識を広める啓発活動に取り組む必要があります。 ○性的指向及び性自認を理由とした偏見や差別等の人権問題への理解促進に向け、啓発物品の配布や様々な広報媒体を活用した啓発が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○学校、地域、家庭、職場など、市民の暮らしの中で起こる人権問題等に対処するため、引き続き各種相談支援を行います。 ○女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人などの様々な人権問題について、正しい知識と理解促進に向けた研修会や啓発活動を行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向03 基本政策04 施策18 男女共同参画の推進	2. 取りまとめ担当課	オーガニックシティ推進課
--------	------------------------------	-------------	--------------

3. 目標	男女が互いに認め合い、共に活躍できる豊かで活力のある社会の実現をめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	男女共同参画フォーラムの参加者数	189人 (平成29年度)	82人	924人 (オンライン動画 視聴人数を含む)	691人 (オンライン動画 視聴人数を含む)		210人	 <table border="1"><caption>男女共同参画フォーラムの参加者数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>189</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>82</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>924</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>691</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>210</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	189		R1	82		R2	924		R3	691		R4		210
	年度	実績値	目標値																							
H30	189																									
R1	82																									
R2	924																									
R3	691																									
R4		210																								
市が設置する審議会等の女性委員の割合	28.2% (平成29年度)	27.5% (令和元年度)	28.0% (令和2年度)	26.5% (令和3年度)		40%	 <table border="1"><caption>市が設置する審議会等の女性委員の割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>28.2</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>27.5</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>28</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>26.5</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>40</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	28.2		R1	27.5		R2	28		R3	26.5		R4		40	
年度	実績値	目標値																								
H30	28.2																									
R1	27.5																									
R2	28																									
R3	26.5																									
R4		40																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	男女共同参画推進事業費	217	217	82
	男女共同参画推進委員会委員報酬	180	132	132
	計	397	349	214

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	317	337	397		1,051
	決算見込額	199	60	214		473

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	男女共同参画の意識づくり・条件づくり	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○固定的な男女の役割分担意識の解消に向けて、継続的な広報・啓発活動に努め、令和3年6月と7月に男女共同参画フォーラムを実施しました。		
10. 主な課題	○第4次男女共同参画計画における将来像「男女が互いに認め合い、共に活躍できる豊かで活力のある社会」に向け様々な施策を進めており、特に男女共同参画フォーラムでは固定的な男女の役割分担意識の是正と慣行の見直しを図っているところです。フォーラムの開催にあたっては、意識の改革と制度・観光の見直しに向けたメニューを選定し、様々な媒体により周知を図っているところですが、今後も引き続き時代背景を捉えた参加しやすいメニューの選定と周知方法の検討を進める必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○男女共同参画をより一層推進させるため、フォーラムの開催にあたり様々な角度からのアプローチにより参加しやすいメニューの選定を行います。また、市職員の男女共同参画施策に関する意識高揚を図る働きかけとして職員向けのセミナーを行い、市が設置する審議会や役職等における女性の割合増加を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策01 施策19 企業誘致の推進	2. 取りまとめ担当課	産業振興課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	産業集積拠点である「かずさアカデミアパーク」、「かずさアクアシティ」（金田地区）及び「インターチェンジ周辺地区」への効果的な企業誘致に取り組み、地域経済の活性化をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	産業立地促進条例に基づく立地奨励金の新規交付件数 (増設を含む)	1 件 (平成29年度)	1 件	0 件	1 件		1 件	
	かずさインキュベーションセンター及び民間主導の研究開発施設への開業件数	1 件 (平成29年度)	1 件	0 件	2 件		1 件	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	企業誘致奨励金（計画事業 P 30、進捗状況○）	103,412	103,412	103,412
	計	103,412	103,412	103,412

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	82,488	62,238	103,412		248,138
	決算見込額	80,799	60,875	103,412		245,086

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	企業誘致の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○木更津市産業立地促進条例に基づき、立地奨励金を4社（継続交付企業3社）に交付するとともに、新規交付企業を1社指定しました。 ○かずさアカデミアパークにおいて、「たつみ工業株式会社」が令和3年6月に立地決定し、令和5年中の開業を目指して現在建設中です。		
10. 主な課題	○かずさアカデミアパーク及び金田地区においては、未分譲用地の早期立地と未操業用地の早期利活用が求められています。 ○インターチェンジ周辺地区においては、引き続き都市計画に基づく適切な誘導を行うとともに、産業用地としての可能性の検討が求められています。 ○産業用地が不足していることから、民間開発事業との連携を基本的な考えとした産業用地の創出について検討を進めていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○木更津市企業誘致方針に基づき、かずさアカデミアパーク、金田西地区及びインターチェンジ周辺地区を拠点とした戦略的な企業誘致を進めるとともに、産業用地の不足に対応した企業誘致を進めます。 ○引き続き企業訪問や情報発信などにより本市の企業立地の優位性をPRするとともに、立地奨励金制度等を活用した企業誘致の推進に取り組めます。		
8. 主な取組名称②	かずさアカデミアパークを拠点とした新産業等の創出	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○賃貸型研究開発施設かずさインキュベーションセンターの新規入居企業として、「Green Earth Institute株式会社」が令和4年2月に入居し、「IM I T E X株式会社」が令和4年3月に新たに入居しました。 ○かずさインキュベーションセンターへ定期訪問し、入居企業と意見交換等を行いました。		
10. 主な課題	○かずさインキュベーションセンター入居企業等に対し、飛躍的かつ円滑に事業が進むよう、様々な支援制度をいち早く情報提供する等、更なる支援を行う必要があります。 ○かずさDNA研究所やN I T E等の研究機関や、企業・大学等と連携が可能な企業の誘致に取り組む必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○かずさインキュベーションセンターの利用促進や、研究機関・企業・大学等と連携が可能な企業の誘致を図るとともに、現在立地を検討している企業の立地の後押しとなるよう、様々な支援制度の情報提供や立地済み企業との情報交換の場の提供等のサポートを行い、新産業の創出を支援します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策20 農業の振興	2. 取りまとめ担当課	農林水産課
--------	--------------------------	-------------	-------

3. 目標	農業を支える”ひとづくり”を基本とし、農地集約による、持続可能な地域農業の発展と安定をめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	農地保全活動面積	849ha (平成30年度)	938ha	996ha	1,000ha		948ha	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>849</td><td>849</td></tr><tr><td>R1</td><td>938</td><td>888</td></tr><tr><td>R2</td><td>996</td><td>908</td></tr><tr><td>R3</td><td>1000</td><td>928</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>948</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	849	849	R1	938	888	R2	996	908	R3	1000	928	R4		948
	年度	実績値	目標値																							
	H30	849	849																							
	R1	938	888																							
R2	996	908																								
R3	1000	928																								
R4		948																								
新規就農者数	3組 (平成30年度)	3組	3組	4組		5組	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>R1</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>R2</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>R3</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>R4</td><td>5</td><td>5</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	3	3	R1	3	3	R2	3	3	R3	4	4	R4	5	5	
年度	実績値	目標値																								
H30	3	3																								
R1	3	3																								
R2	3	3																								
R3	4	4																								
R4	5	5																								
有害鳥獣による農作物被害額	1,120万円 (平成29年度)	2,700万円 (平成30年度)	2,264万円 (令和元年度)	2,061万円 (令和2年度)		1,000万円	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2700</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>2264</td><td>1100</td></tr><tr><td>R2</td><td>2061</td><td>1100</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>1050</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>1000</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	2700		R1	2264	1100	R2	2061	1100	R3		1050	R4		1000	
年度	実績値	目標値																								
H30	2700																									
R1	2264	1100																								
R2	2061	1100																								
R3		1050																								
R4		1000																								
学校給食における有機米の提供割合	未実施 (平成30年度)	2.2%	11.8%	38.2%		5.0%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>2.2</td><td>5</td></tr><tr><td>R2</td><td>11.8</td><td>5</td></tr><tr><td>R3</td><td>38.2</td><td>5</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>5</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30			R1	2.2	5	R2	11.8	5	R3	38.2	5	R4		5	
年度	実績値	目標値																								
H30																										
R1	2.2	5																								
R2	11.8	5																								
R3	38.2	5																								
R4		5																								

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	多面的機能支払交付金事業費	89,919	86,659	86,659
	農業次世代人材投資事業交付金事業費（計画事業P31、進捗状況○）	7,500	6,000	6,000
	農作物被害対策事業費	30,075	24,607	24,607
	オーガニック米普及推進事業費（有機米生産促進事業費）（計画事業P32、進捗状況○）	5,000	5,000	4,991
	きさらづアグリフーズ推進事業費	2,000	2,000	1,547
	計	134,494	124,266	123,804

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	142,678	139,568	134,494		416,740
	決算見込額	137,403	128,515	123,804		389,722

8. 主な取組名称①	農村環境の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○多面的機能支払交付金の活用団体が21団体（R 2）から22団体（R 3）に増えて、農地保全活動面積が4ha増加しました。		
10. 主な課題	○水路、農道等の地域資源の保全管理に対する農家の負担が増加しています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○農村の有する多面的機能の低下を防ぐため、多面的機能支払交付金の活用団体を更に増加させます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	地域農業経営体の育成	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○有害獣の捕獲強化により、農作物被害を軽減するため、獣肉処理加工施設を活用した、捕獲強化への取組を充実させました。 ○就農相談や巡回指導などの実施により、新規就農者の就農支援を行うことで、担い手の育成支援を充実させました。		
10. 主な課題	○農業生産額の低迷や所得の減少により、農業経営の効率化による経営の安定化が求められています。 ○農作物被害額は減少に転じておりますが、有害獣の捕獲においては担い手不足が問題となっており対策が求められています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ICTを活用した、効率的な鳥獣害対策による捕獲強化を推進し、農作物被害の低減に向け進めていきます。 ○地域農業を支える担い手への支援、新規就農の育成や農地集約による農業経営の効率化に向けた取組を推進します。		
8. 主な取組名称③	高品質高付加価値農産物の生産拡大	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○道の駅「木更津 うまくたの里」を中心に、市内生産者と連携した新たな商品開発を進めました。 ○本市の基幹作物である米のブランド化や良食味米の生産促進に向けて、木更津市農業協同組合との連携のもと、令和3年度「木更津産米」食味分析コンクールを開催しました。 ○木更津産農産物の付加価値化や飲食店におけるオーガニックブランドの創出を図るため、有機JAS認証等の取得を支援しました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動や経済活動が大きく制限される中、本市農産物をPRする機会や場が減少しています。 ○全国的な米の消費減退や新型コロナウイルス感染症の影響による、外食産業を中心とした需要の減少から米の価格低下が危惧されています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○千葉県6次産業化サポートセンターや木更津市産業・創業支援センター「らづ-Biz」等の支援機関と連携し、道の駅との協働をはじめ、市内生産者の所得向上に寄与する6次産業化の取組を推進します。 ○木更津市農業協同組合と連携して、米の食味にこだわった「木更津産米」食味分析コンクールを開催します。 ○木更津産農産物の付加価値化や飲食店におけるオーガニックブランドの創出を図るため、有機JAS認証等の取得を支援します。		
8. 主な取組名称④	都市と農村の交流促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動やイベント等の開催が制限される中、国等が示す感染対策マニュアルを遵守した上で、「木更津市オーガニックシティフェスティバル2021」を開催し、本市農産物のPRや販売促進、味噌づくり体験等を通じた食育活動を推進しました。		
10. 主な課題	○未だ収束を見通すことが困難な新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動やイベント等の開催が制限される中、交流機会の創出は困難な状況にあります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○新型コロナウイルス感染症収束への動向を注視しつつ、本年秋の「木更津市オーガニックシティフェスティバル2022」の開催や道の駅「木更津 うまくたの里」を拠点とした農泊（農山漁村滞在型旅行）の推進に向けて、関係機関等との協議・調整を進めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称④	有機農業の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○市内公立小中学校の学校給食提供に向けて、市内13名（前年度比5名増）の生産者の協力のもと、有機米（有機JAS認証を目指した農薬・化学肥料を一切使用しない栽培方法により生産された米）の生産を促進しました。 ○生産者の栽培技術の確立に向けて、市の委託により専門家による研修を実施しました。 ○収穫された米のうち、約43トン（11月1日からの約3か月間、市内全公立小中学校の学校給食に提供しました）。		
10. 主な課題	○木更津産米の付加価値向上に向けて、学校給食提供に向けた有機米の生産に係る取組を広く地域内外にPRすることが必要です。また、雑草防除対策や収量の確保など、有機米の栽培技術の確立及び指導体制の充実が求められています。 ○有機米の収量の増加を図るため、生産者を増やしていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○専門家の指導や関係機関・団体との連携のもと、本市における有機米栽培技術の早期確立を目指します。また、有機米の栽培面積の拡大に向けて、市内生産者への一層の協力を働きかけます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策21 林業の振興	2. 取りまとめ担当課	農林水産課
--------	--------------------------	-------------	-------

3. 目標	森林の整備や保全を効果的・計画的に実施し、優良な森林を造成することで、将来にわたり森林資源を守り、有効に活用できる環境づくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1実績値	R 2実績値	R 3実績値	R 4実績値	目標値	グラフ
	森林経営計画の計画対象森林面積	204ha (平成30年度)	224ha	227ha	193ha		276ha	
	里山活動団体数	2団体 (平成30年度)	2団体	2団体	2団体		4団体	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	林業振興補助金	9,408	8,956	8,956
	森林環境整備事業費	10,381	10,340	10,340
	森林整備基金積立金	7,465	7,630	7,630
	林道維持管理事業費	9,633	9,633	9,633
	計	36,887	36,559	36,559

7. 施策目標の達成（進捗）状況

B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	18,398	31,338	36,887		86,623
	決算見込額	15,897	26,780	36,559		79,236

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	林業の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○森林の健全な成長を促進するため、千葉県森林組合が間伐材搬出、被害森林（サンプスギ）の再生（被害木の伐倒・搬出、跡地の植栽）を実施しました。 ○森林の土地所有者に対し、経営と管理に関する意向調査を実施しました。 ○災害によるインフラ施設への被害防止に危険木の予防伐採を実施しました。また、林道通行の安全確保のため、除草委託、補修工事を実施しました。		
10. 主な課題	・災害によるインフラ施設への被害を未然に防止する危険木の予防伐採を進めるため、関係機関や森林所有者との連携を整えることが課題です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	・「木更津市森林整備方針及び事業計画書」（令和2年9月策定）に基づき、千葉県と連携しながら森林整備事業を推進します。		
8. 主な取組名称②	ひとと森林の共生	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○地域住民等で組織する活動組織が実施する森林の保全管理や資源の利活用、山村の活性化に資する取組に対し、支援しました。		
10. 主な課題	○人の手が入らなくなったことで、荒廃が進んでいる里山を再生させることが課題です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○千葉県と連携しながら、里山整備を進める取組を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策22 水産業の振興	2. 取りまとめ担当課	農林水産課
--------	---------------------------	-------------	-------

3. 目標	水産物の安定した生産・供給体制を整え、漁業の担い手の育成・確保や漁場環境の保全を図り、本市の伝統的な産業である水産業の活力再生をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	アサリの年間生産量	41t (平成29年度)	70t	7 t	140 t (見込)		200t	
	潮干狩り入場者数	21.8万人 (平成30年度)	18.8万人	2.9万人	9.7万人		25万人	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	海難予防施設設置事業費（計画事業 P 33、進捗状況○）	1,625	1,625	1,625
	船溜、浚渫事業費（計画事業 P 34、進捗状況○）	14,093	13,910	13,910
	流通改善施設整備事業（計画事業 P 35、進捗状況○）	1,244	1,244	1,244
	のり漁場油濁監視事業費（計画事業 P 36、進捗状況○）	1,491	1,490	1,490
	アサリ食害対策事業費（計画事業 P 37、進捗状況○）	1,349	780	607
	漁港関連整備事業費（計画事業 P 38、進捗状況○）	27,000	46,060	28,542
	共同利用施設設置事業費（計画事業 P 39、進捗状況○）	1,819	901	901
	アサリ稚貝越冬緊急対策事業費（計画事業 P 40、進捗状況○）	3,343	2,215	2,127
	カキ養殖導入促進事業費（計画事業 P 41、進捗状況○）	972	868	868
計		52,936	69,093	51,314

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	104,340	52,682	52,936		209,958
	決算見込額	78,767	45,894	51,314		175,975

8. 主な取組名称①	漁業振興の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○地場のアサリを保護・育成を図るため「囲い網等」による食害防止対策やスズガモの駆除について、千葉県と連携し支援しました。 ○地場のノリを保護・育成を図るため「監視灯、防除ネット等」による保全・保護に関する活動について、千葉県と連携し支援しました。		
10. 主な課題	○アサリの稚貝購入が困難であり、漁場の稚貝については発生するものの未だに多くのアサリが越冬することができず斃死してしまうため、各漁場では稚貝が発生する場所を調査しながら「囲い網」を整備するなど保護に努めております。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○平成30年頃から整備し始めた「囲い網」が令和2年度には全漁場で整備され効果が出てきていると感じるため、さらなる支援を千葉県と連携し行います。 ○新たな水産資源として取り組んでいる「カキ養殖」について、令和5年の漁業権取得に向けた取り組みについて、千葉県と連携した支援を図ります。		
8. 主な取組名称②	漁業生産基盤の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○漁港の航路整備（浚渫）と波除堤1ヶ所整備（試験）を実施しました。		
10. 主な課題	○波除堤の効果検証と限られた予算内で計画的に保全工事を進めます。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○引き続き航路整備（浚渫等）を主に整備を進め漁船の安全（航行等）を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	観光漁業の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、大型商業施設での潮干狩りPRイベントは中止となりましたが、市内小学校や観光スポットへのチラシ配布や観光パンフレット「週末木更津計画」への掲載など情報発信を行い、来場者数の確保に努めました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症発生前の来場者数に回復していないため、より一層の来場者数の確保に向け、引き続き効果的な周知活動を行っていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○大型商業施設・海ほたるPA等の観光スポットとの連携による周知活動や千葉県主催のPRイベントの活用等を推進するなど、引き続き効果的な情報発信を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策23 商工業の振興	2. 取りまとめ担当課	産業振興課
--------	---------------------------	-------------	-------

3. 目標	中小企業や起業・創業者への支援の充実を図り、商工業の基盤の安定を促進し、地域経済の発展をめざします。また、卸売市場の再整備に向けた取組を推進します。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	産業・創業支援センター「らぶBiz」の支援を受けた創業件数	6件 (平成29年度)	47件	56件	63件		25件	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>20</td><td>10</td></tr><tr><td>R1</td><td>47</td><td>14</td></tr><tr><td>R2</td><td>56</td><td>18</td></tr><tr><td>R3</td><td>63</td><td>22</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>23</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	20	10	R1	47	14	R2	56	18	R3	63	22	R4		23
	年度	実績値	目標値																							
	H30	20	10																							
R1	47	14																								
R2	56	18																								
R3	63	22																								
R4		23																								
電子地域通貨「アクアコイン」の加盟店数	410店 (平成31年1月末時点)	565店	663店	750店		1,500店	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>410</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>565</td><td>600</td></tr><tr><td>R2</td><td>663</td><td>900</td></tr><tr><td>R3</td><td>750</td><td>1300</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>1500</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	410		R1	565	600	R2	663	900	R3	750	1300	R4		1500	
年度	実績値	目標値																								
H30	410																									
R1	565	600																								
R2	663	900																								
R3	750	1300																								
R4		1500																								
製造品出荷額等の額	2,144億 8,143万円 (平成28年調査)	2,070億 9,189万円 (平成29年調査)	2,761億 5,719万円 (平成30年調査)	1,925億 5,692万円 (令和元年調査速報値)		2,250億円	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>21448143</td><td>21448143</td></tr><tr><td>R1</td><td>20709189</td><td>21711107</td></tr><tr><td>R2</td><td>27615719</td><td>21974071</td></tr><tr><td>R3</td><td>19255692</td><td>22237035</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>22500000</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	21448143	21448143	R1	20709189	21711107	R2	27615719	21974071	R3	19255692	22237035	R4		22500000	
年度	実績値	目標値																								
H30	21448143	21448143																								
R1	20709189	21711107																								
R2	27615719	21974071																								
R3	19255692	22237035																								
R4		22500000																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	産業・創業支援センター管理運営費	40,574	38,677	32,083
	空き店舗活用支援事業補助金（計画事業P42、進捗状況○）	4,000	4,000	384
	アクアコイン普及推進事業費（計画事業P43、進捗状況○）	7,995	30,306	27,899
	計	52,569	72,983	60,366

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	54,343	53,128	52,569		160,040
	決算見込額	54,029	50,569	60,366		164,964

8. 主な取組名称①	中小企業の支援と創業の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○中小企業の経営相談、企業・創業相談を、木更津市産業・創業支援センターを拠点として行い、相談件数が2,036件あり、創業塾を2期実施し、計68名の参加がありました。 ○中小企業の資金調達支援、利子補給による負担軽減を、市の融資制度によって行い、新規融資実行件数が121件、新規融資実行額が1,115,010千円でした。 ○中小企業の経営革新支援として、経営革新計画の承認を受けた事業者に対し、経営革新計画承認事業者奨励金を交付しました。対象事業者は3事業者で、交付金額は15万円でした。		
10. 主な課題	○中小企業の経営相談の課題として、木更津市産業・創業支援センター自身の認知度を向上させ、更なる新規相談者を増加させることが課題です。 ○中小企業の資金調達支援の課題として、資金調達の際の保証料の補助や、償還期間の延長についての要望が挙がっています。 ○中小企業の経営革新支援の課題として、経営革新計画の承認を受けた事業者が、当初見込み通りの件数でしたので、引き続き市内事業者へ周知をしていきます。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○中小企業の経営相談については、市の広報媒体と連携し、新規相談者へ向けての告知を強化します。 ○中小企業の資金調達支援については、要望を踏まえ、適正な運用ができるよう制度設計の検討を行います。 ○中小企業の経営革新支援については、木更津市産業・創業支援センターとも連携を図り、市内事業者の経営革新を促進します。		

8. 主な取組名称②	商業の活性化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○木更津駅周辺の空き店舗を活用した取組として、空き店舗活用支援事業補助金を1事業者に対し、384千円の交付を行いました。 ○電子地域通貨「アクアコイン」は、令和3年度末時点で、インストール数22,858件、加盟店数750店、累計利用額が881,727千円となり、着実にアクアコインの普及推進を図ることが出来ました。		
10. 主な課題	○空き店舗活用支援事業補助金の課題として、新型コロナウイルス感染症の影響で新規出店を見送る傾向にありました。 ○アクアコインをきっかけとした資金の域内循環をより高めるため、アクアコイン利用額の増加が課題となっています。 ○アクアコイン加盟店数が目標に達していないため、加盟店数を伸ばすことが課題です。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○空き店舗活用支援事業補助金については、補助金利用者と登録店舗数を増やすために、登録済みの空き店舗を紹介する記事をSNSに掲載し、空き店舗を紹介するツアーを開催して情報発信を積極的に行います。 ○アクアコインについては、広く市民や事業者等に周知を行うとともに、アクアコインの有用性やメリット等の再整理を行ったうえで、新たに周知資料を作成し、日常的に利用頻度の高い店舗を中心に加盟促進を図り、利用額の増加を図ります。 ○チャージの利便性や支払い時の利便性向上に向けて、市民や利用者の意見を踏まえた策を講じるほか、効果的なポイント付与キャンペーンの実施や、積極的なPR活動等を展開します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	工業の活性化	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○4市や各商工会議所等で組織する「かずさアカデミアパーク経済対策協議会」が行うアカデミアパーク進出企業と地元企業のビジネスマッチング交流会は、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は開催できませんでしたが、個別企業同士の連携支援は随時行いました。 また、アカデミアパーク内の企業の情報発信支援を行う協議会ホームページの充実を図り、その後の事業者同士の取引の足掛かりとなる支援に繋がりました。 ○市が認定を行うことで、事業者の設備投資を支援（税制支援や金融支援など）する先端設備導入計画については、令和3年度は市から6件の認定を行い、中小企業の生産性向上に努めました。		
10. 主な課題	○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、工業の活性化に向け、交流会形式の連携支援が出来なかったため、新たな方法を考える必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○新型コロナウイルス感染症の影響下での、効果的な支援を行うため、オンラインなどWEBを活用した支援策を検討・実施します。 ○引き続き、中小企業の生産性革命・集中投資の実現のため、先端設備導入計画に基づく、事業者支援を展開します。		
8. 主な取組名称④	卸売市場の再整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○卸売市場の再整備の推進に向け、「木更津市公共施設再配置計画第2期実行プラン」及び「木更津市飛行場周辺まちづくり基本構想（素案）」に方針を位置づけました。		
10. 主な課題	○昭和44年の開設後50年以上経過し老朽化が激しいこと、また耐震性も確保できていないことから早急な再整備が必要です。また、市場の取扱高は減少傾向にありますが、地域の生鮮食料品の流通を担う重要な機能を有していることから、継続的な運営と目指すべき市場の方向性を早急に定める必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○中長期的な市場運営、投資、財政計画等を整理し、目指すべき市場の姿と方向性を定める経営戦略に市場再整備基本計画を含めた計画の策定に取り組めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策24 勤労者支援の充実	2. 取りまとめ担当課	産業振興課
--------	-----------------------------	-------------	-------

3. 目標	多様なニーズに対応した就労支援の充実を図るとともに、働きやすい就労環境の実現をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	各種セミナー・講座等の参加者数	90人 (平成29年度)	57人	73人	63人		150人	<table><caption>参加者数推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>58</td><td>102</td></tr><tr><td>R1</td><td>57</td><td>114</td></tr><tr><td>R2</td><td>73</td><td>126</td></tr><tr><td>R3</td><td>63</td><td>138</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>150</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	58	102	R1	57	114	R2	73	126	R3	63	138	R4	
年度	実績値	目標値																							
H30	58	102																							
R1	57	114																							
R2	73	126																							
R3	63	138																							
R4		150																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	子育て期女性の就労支援事業	491	426	424
	君津都市職業訓練協会負担金	280	241	241
	勤労者退職金等共済掛金補助金	250	950	818
	計	1,021	1,617	1,483

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	578	1,493	1,021		3,092
	決算見込額	531	487	1,483		2,501

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	雇用の安定と拡大	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○月1回定期開催される自立支援調整会議（自立支援課主催）にて、社会福祉協議会などの関係機関と、様々な相談ケースの対応について意見交換をしたり、情報共有することができました。千葉県ジョブサポートセンターとの共催によるセミナー開催やハローワークをはじめとする関係機関との会議を通して情報共有を図ることで、連携強化を図り、市民の就業・再就業にかかる支援をすることができました。 ・応募書類・面接基本セミナー（ジョブカフェちば） 開催回数：1回、参加者数：5人 ・中高年再就職支援セミナー（千葉県ジョブサポートセンター） 開催回数：1回、参加者数：27人 ・就職するまでの生活・就労に関する個別相談（千葉県ジョブサポートセンター） 開催回数：5回、参加者数：17人 ・子育て期の女性就労支援セミナー（木更津市） 開催回数：1回、参加者数：14人 ○勤労者退職金共済掛金補助金について、事業所数19か所、利用者数136名、交付金額818,400円の支援を実施し、中小企業や個人商店等の従業員の福利向上と雇用の安定を図ることができました。 ○君津郡市共同職業訓練校に対して、負担金241,000円を交付し、令和2年度の修了生は建築科が0名、造園科が4名、令和3年度の在校生は建築科が6名、造園科が6名であり、優秀な技能者の輩出と育成を図ることができました。		
10. 主な課題	○ジョブサポとの共催の中高年再就職支援セミナーは定員近くまで参加申込みがありました。ハローワーク木更津管内の有効求人倍率は、令和3年12月は1.29倍となり、全国の1.16倍を超える高水準で推移していますが、前年度のハローワーク木更津管内は1.40倍でしたので、雇用状況は厳しくなっている状況であると推測されます。 ○勤労者退職金共済掛金補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入の減少が懸念される中、本補助事業を活用する事業者が増加傾向にあり、本補助事業のさらなる推進が求められています。（当初予算額250,000円、実績額818,400円） ○君津郡市共同職業訓練校の訓練生募集等の資料を窓口にて配架したり広報紙に掲載していますが、優秀な技能者の輩出と育成に向けて、さらなる周知が必要であると考えます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ジョブサポとの共催事業について、セミナーの他、月1回程度の出張個別相談会を実施し、多くの方へ柔軟に対応します。 ○勤労者退職金共済掛金補助金について、令和3年度は当初予算額を上回る申請があったため、今後の動向に注視し、引き続き、中小企業の従業員の福祉向上及び雇用の安定を図ります。 ○君津郡市共同職業訓練校の訓練生募集については、優秀な技能者の輩出と育成に向けて、さらなる周知に取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策03 施策25 観光の振興	2. 取りまとめ担当課	観光振興課
--------	--------------------------	-------------	-------

3. 目標	「木更津市観光振興計画」に基づき、本市が有する自然や歴史文化等の魅力ある観光資源を活用した観光客誘致を行うことで、まちの賑わいを創出するとともに、木更津版DMOと連携した観光地域づくりをめざします。また、関係機関と連携し、市内へのMICE誘致を行います。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ
	観光パンフレット記載のクーポン利用率	4.6%	8.4%	5.5%	-		10%	
	観光おもてなしセミナー参加団体	0団体	24団体	0団体	0団体		15団体	
	国際会議の開催件数	3件	2件	0件	0件		5件 (累計)	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R3当初予算額	R3現年予算額	R3決算見込額
	週末木更津計画推進事業費	2,880	2,845	2,845
	みなとまち木更津推進協議会事業負担金	6,000	6,000	1,142
	木更津版DMO運営費補助金	24,000	24,000	23,995
	国際会議観光都市関係費	1,620	1,614	800
	計	34,500	34,459	28,782

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	35,598	29,517	34,500		99,615
	決算見込額	31,160	28,637	28,782		88,579

8. 主な取組名称①	観光客の回遊策の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「木更津港まつり」などの様々な大型イベントが中止となるなか、市内の飲食店等で利用可能なクーポンを掲載した観光パンフレット「週末木更津計画」を年4回発行し、東京・神奈川を中心に多くの来訪者がある大型商業施設等で配布することで、観光客の市内への回遊促進を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、対策を講じながら「木更津ナチュラルバル」を計8回開催し、街なかの賑わい創出に努めました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不透明ななか、ウィズコロナに対応したイベントの開催方法等について創意工夫が必要です。また、大型商業施設への来訪客を市内に回遊させる「週末木更津計画事業」について、より効果的な実施方法等を検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○「週末木更津計画事業」ウェブサイトの活用や感染症の対策をした各種イベントを開催するなど、市内への集客及び回遊性を向上させるための効果的方法を検討します。		

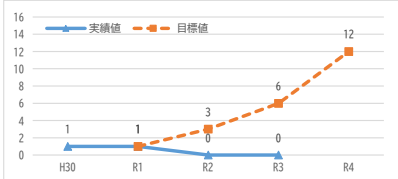
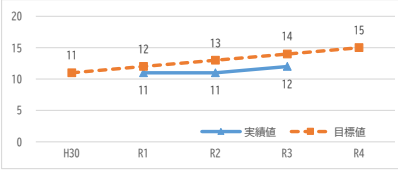
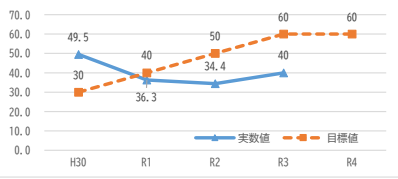
8. 主な取組名称②	観光客受入体制の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○シーカヤック体験やキャンプ、教育旅行プログラムなど、本市の里海・里山を活用したツアー商品の造成・販売を行う「きさらづDMO（一般社団法人木更津市観光協会）」と連携し、観光客の受入体制の整備を図りました。		
10. 主な課題	○「きさらづDMO」が造成・販売を開始したツアー商品の販売促進に向けて、ツアー内容の検証や参加者からの意見等を踏まえ、引き続き環境整備を含め、磨き上げを行っていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○引き続き、ウィズコロナ・ポストコロナに対応した魅力あるツアーの造成・商品化を進める「きさらづDMO」や地域の関連事業者と連携し、観光客受入体制の整備を図ります。また、ツアー商品の販売促進に向けて、様々な広報媒体を活用し、効果的な情報発信を行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	国際会議等のMICE誘致	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外国人の入国制限があるなか、ちば国際コンベンションビューローと連携し、オンラインでの商談会へ参加することにより、シンガポール、タイ、マレーシア、台湾といったアジア諸国のランドオペレーター（旅行サービス手配業者）へ本市のPRを図ることができました。また、日本在住のランドオペレーターへ向けて、市内のMICE関連施設の視察会を実施しました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのような国際会議の開催が難しくなっているため、会場とオンラインの両方で会議を共有するハイブリット型の会議等に対応できる環境整備やウィズコロナ・ポストコロナにおける誘致方法を検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和4年度は3件の国際会議が予定されていることから、ちば国際コンベンションビューローや宿泊施設等と連携を図りながら、会議開催を支援します。また、国際会議の主催・参加団体それぞれのニーズを的確に把握し、ちば国際コンベンションビューローとの連携のもと、引き続きMICEの誘致を推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策04 施策26 広域交流の推進	2. 取りまとめ担当課	地域政策課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	広域道路ネットワークの結節点である地理的優位性と、地域資源の発掘・活用及び魅力の発信を通じて、県内及び対岸地域からの交流人口を増やし、賑わいの創出をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	大型クルーズ船の寄港数	1 隻	1 隻	0 隻	0 隻		12隻	
	木更津金田バスターミナル（チバスタアクア金田）の高速バス乗り入れ路線数	11路線	11路線	11路線	12路線		15路線	
	道の駅の利用者数 (レジ通過者数)	33.4万人 (平成29年10月20日開業～平成30年3月31日)	36.3万人	34.4万人	40万人		60万人	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	みなとの賑わい創出事業費（計画事業P44、進捗状況△）	7,000	2,500	1,176
	計	7,000	2,500	1,176

7. 施策目標の達成（進捗）
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	43,681	15,553	7,000		66,234
	決算見込額	39,000	2,916	1,176		43,092

8. 主な取組名称①	東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○アクアラインマラソンの開催年ではない場合の活動は、海ほたる等でイベントを開催していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況が続き、日々感染者が増加傾向である現状を踏まえ、イベントは実施せず、令和4年3月にPR動画を作成しました。		
10. 主な課題	○令和4年度はアクアラインマラソンの開催年であるため、大会時のPR活動内容を協議会員と検討していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○東京湾アクアラインの通行料金引き下げの効果を本市経済の活性化や地域振興に結び付けていくため、引き続きアクアラインマラソン開催時には大会時に出席ブースを設けるなどしてPR活動を行っていき、アクアラインマラソンの開催年ではない場合においても、海ほたる等でイベントを開催するなど、協議会員と連携して取り組みます。		

8. 主な取組名称②	みなとまち木更津の再生	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○クルーズ船海外専門雑誌「Seatrade Cruise Review」に掲載し、木更津港の知名度向上を図りました。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、無電柱化工事（管渠L=70m、特殊部8基）を実施しています。 ○パークバイプロジェクトにおける鳥居崎海浜公園の整備について、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、民間集客施設を含む事業者による公園整備を実施、3月に工事が完了しました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、国内外のクルーズ船運航は大きな影響を受けているため、今後の状況を注視するとともに、感染症に対応したクルーズ船の受入体制の整備が必要です。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議が必要になります。 ○公募設置管理制度による民間事業者との公園運営は本市初の取り組みのため、事業運営、連絡態勢の構築等の調整が引き続き必要となります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○港湾管理者や関係者と調整を行い、新型コロナウイルス感染症に対応したクルーズ船の受入体制を整えます。 ○新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、船社への誘致を行います。 ○パークバイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道改良）については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議、調整を実施し計画通り事業の進捗を図ります。 ○次期整備計画のため、開園した鳥居崎海浜公園の運営業況や周辺の交通状態などの情報収集を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	木更津金田バスターミナルの活用	12. 取組（進捗）状況	C
9. 主な成果	○木更津金田バスターミナルについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の年間利用者は約34万人となり、前年の半数程度まで激減しましたが、交通結節点としての機能は変わらず市民の通勤通学の足として利便性の向上に貢献しました。 ○関西方面へ運行する夜行バスが、新たにバスターミナルへ乗り入れる路線として加わりました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やテレワークの推進など、新たな生活様式の浸透に伴い、高速バスの需要が減少しており、運休や減便により事業を継続している状況です。今後利用状況を考慮しつつ、運行体制の充実を図ることが必要となります。 ○金田地区のにぎわいが増している一方で、周辺道路の渋滞が課題となっています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○高速バスについて適切な感染防止対策を講じていることを周知するとともに、社会・人流の変化に合った継続的な利用者増加を図るため、運転手不足や運行ダイヤの調整等の課題を考慮した上で、利用状況に合わせた段階的な乗り入れを視野に入れつつ、バス事業者と便数や運賃等について協議を進めるとともに、関係機関と連携し、周辺の交通渋滞の緩和に向けて取り組みます。		
8. 主な取組名称④	新たな交流拠点としての道の駅の活用	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大による非常事態宣言の発令（8/2～9/30）等の影響を受けて、売り上げが減少した月もあったものの、広報・メディアを活用したPR等の販売促進に努め、来客及び売上が前年度を上回りました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響は未だあるものの、当施設は売り上げを伸ばしており、今後も6次産業化の拠点施設、市内生産者の安定的な出荷先としての役割が期待されるなか、さらなる利便性向上を踏まえ、施設の拡張を視野に入れた施設整備を検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○新型コロナウイルス感染症の動向に注視しつつ、農業体験や収穫体験をはじめ、食育の推進につながる農泊（農山漁村滞在型旅行）を多様な主体との連携のもと推進します。 ○年間40万人以上の利用者が集まる当施設の拡張に向けて、拡張計画を策定します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策04 施策27 国際交流の推進	2. 取りまとめ担当課	オーガニックシティ推進課
--------	----------------------------	-------------	--------------

3. 目標	姉妹・友好都市との交流を深めるとともに、国際性豊かな人材を育み、外国人も共に暮らしやすいまちづくりをめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	国際交流事業の実施件数	224件 (平成30年度)	171件	72件	90件		1,000件 (累計)	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>224</td><td>250</td></tr><tr><td>R1</td><td>395</td><td>450</td></tr><tr><td>R2</td><td>467</td><td>640</td></tr><tr><td>R3</td><td>557</td><td>820</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>1000</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	224	250	R1	395	450	R2	467	640	R3	557	820	R4		1000
	年度	実績値	目標値																							
H30	224	250																								
R1	395	450																								
R2	467	640																								
R3	557	820																								
R4		1000																								
市民ボランティア登録者数	96人 (平成30年度)	17人	0人	2人		150人 (累計)	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>96</td><td>100</td></tr><tr><td>R1</td><td>113</td><td>115</td></tr><tr><td>R2</td><td>113</td><td>130</td></tr><tr><td>R3</td><td>115</td><td>140</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>150</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	96	100	R1	113	115	R2	113	130	R3	115	140	R4		150	
年度	実績値	目標値																								
H30	96	100																								
R1	113	115																								
R2	113	130																								
R3	115	140																								
R4		150																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	国際施策推進事業費	259	1,063	1,034
	木更津市国際交流協会補助金	900	900	550
	計	1,159	1,963	1,584

7. 施策目標の達成（進捗）状況

B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	8,765	7,951	1,159		17,875
	決算見込額	8,648	7,648	1,584		17,880

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	国際交流活動の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○市民レベルの国際交流を促進するため、木更津市国際交流協会を支援・連携を図りながら、国際交流活動の充実や市民ボランティアの育成に努めました。 ○グローバル教育と国際交流のため、覚書を締結しているベトナム社会主義共和国ダナン市の学校と富来田小中学校の生徒たちがオンライン交流を行いました。 ○国際施策における多文化共生社会の地域づくりを推進するため、外国人市民のためのリーフレットを作成し、外国人を雇用している企業に配布し、周知に努めました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が実施できませんでしたが、市民レベルの活発な国際交流の積極的な参加を促進するため、木更津市国際交流協会とさらなる連携を図る必要があります。 ○外国人市民の増加により、災害時や感染症などの緊急時におけるわかりやすい情報を的確に情報発信する手段等の充実をより一層図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○国際交流への理解を促進するため、木更津市国際交流協会とさらなる連携を図るとともに、オンラインを活用した事業を積極的に取り組みます。 ○市内在住外国人の生活実態や意識、ニーズ等を把握するため、引き続き外国人市民のコミュニティへの訪問及び聞き取り調査等を実施するとともに、「外国人市民への情報提供ガイドライン」の見直しと職員への周知を行い、多文化共生の地域づくりを促進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策01 施策28 土地利用の適正化	2. 取りまとめ担当課	都市政策課
--------	-----------------------------	-------------	-------

3. 目標	少子高齢化の進行に伴う社会経済状況の急激な変化に対応するため、既存制度（都市計画基礎調査、都市計画基礎調査の結果等を踏まえた都市計画の見直し、市街化調整区域における地区計画制度、地籍調査）を活用するほか、新たな制度（立地適正化計画）を積極的に導入・活用し、計画的な土地利用の実現をめざします。																											
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																				
	市街化調整区域において地区計画を都市計画決定した箇所数	1 箇所 (平成30年度)	1 箇所	2 箇所	2 箇所		5 箇所	<table><caption>市街化調整区域において地区計画を都市計画決定した箇所数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>R2</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>R3</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>R4</td><td>2</td><td>5</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	1	1	R1	1	2	R2	2	3	R3	2	4	R4	2	5		
	年度	実績値	目標値																									
H30	1	1																										
R1	1	2																										
R2	2	3																										
R3	2	4																										
R4	2	5																										
地籍調査事業進捗率	10.2% (平成29年度)	13.3%	14.1%	15.0%		19.9%	<table><caption>地籍調査事業進捗率</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H29</td><td>10.2</td><td>10.2</td></tr><tr><td>H30</td><td>11.7</td><td>11.7</td></tr><tr><td>R1</td><td>13.3</td><td>13.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>14.1</td><td>14.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>15.0</td><td>15.0</td></tr><tr><td>R4</td><td>15.0</td><td>19.9</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H29	10.2	10.2	H30	11.7	11.7	R1	13.3	13.3	R2	14.1	14.1	R3	15.0	15.0	R4	15.0	19.9
年度	実績値	目標値																										
H29	10.2	10.2																										
H30	11.7	11.7																										
R1	13.3	13.3																										
R2	14.1	14.1																										
R3	15.0	15.0																										
R4	15.0	19.9																										

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	地籍調査事業費	45,943	68,767	1,678
	計	45,943	68,767	1,678

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

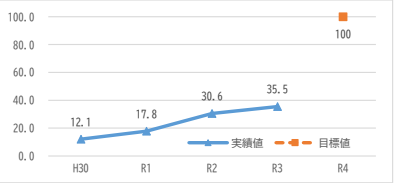
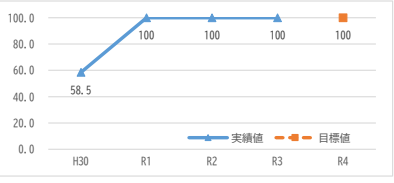
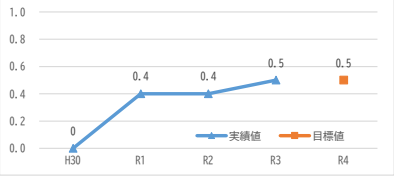
6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	93,573	110,637	45,943		250,153
	決算見込額	92,761	107,287	1,678		201,726

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	計画的土地利用の実現	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○目標を実現するための具体計画として定めた、立地適正化計画に関して、近年の頻発・激甚化する自然災害に対する取組を現計画に追加するため、タウンミーティングを実施し、地区ごとに災害に対する課題等を把握することで、今後の計画策定に活用します。 ○富岡小学校跡地を有効活用するため、関係機関と連携し、地域振興に寄与する施設が立地できるようになりました。		
10. 主な課題	○立地適正化計画について、近年の頻発・激甚化する自然災害に対するソフト・ハード対策の具体的な取組を令和3年度から4年度までの2ヶ年で防災指針として定め、災害に強いまちづくりを推進する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○立地適正化計画の防災指針について、庁内関係部課と緊密な調整を行い、令和4年度末までに取りまとめます。 ○市街化調整区域の地区計画を実現させるための支援制度を4月中に策定・運用し、地区計画策定を推進します。		
8. 主な取組名称②	土地の有効利用の促進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○境界立会い及び測量が終了した土地の測量データ等を地権者に提供して、売買等土地の権利異動の手続きに役立てています。		
10. 主な課題	○地籍調査は住民説明会から始まって、境界の立会い、測量、地籍図及び地籍簿の作成、所有者の閲覧、県の検査、国の承認等を経て、最後に法務局へ納品となることから完了に至るまでに5年から7年と、大変長い年月を要します。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○調査を実施中、当該地区の売買等の権利異動を妨げないために、今後も必要に応じて測量データ等を地権者に提供することにより、円滑な土地取引を促進します。 ○調査に要する期間の短縮に努め、より一層施策の効果の拡大を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策02 施策29 市街地整備の充実	2. 取りまとめ担当課	市街地整備課
--------	-----------------------------	-------------	--------

3. 目標	都市的利便性や快適性を高める都市基盤の計画的な整備と維持を図ることにより、定住人口や交流人口の増加をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	金田西地区の使用収益開始エリア面積	12.1%	17.8%	30.6%	35.5%		100%	
	請西千束台地区の使用収益開始エリア面積	58.5%	100%	100%	100%		100%	
	木更津駅周辺において土地利用の共同化・高度化がなされた地区面積	0ha (未実施)	0.4ha	0ha	0.1ha		0.5ha	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	金田西特定土地区画整理事業負担金（計画事業P45、進捗状況△）	895,663	720,347	618,672
	街なか居住マンション建設補助事業費（計画事業P46、進捗状況△）	300,600	293,883	293,832
	街なか居住マンション取得助成事業費（計画事業P47、進捗状況△）	4,500	0	0
	計	1,200,763	1,014,230	912,504

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

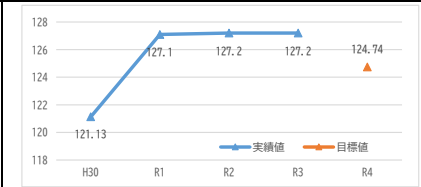
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	1, 170, 596	790, 565	1, 200, 763		3, 161, 924
	決算見込額	1, 101, 338	780, 332	912, 504		2, 794, 174

8. 主な取組名称①	市街地の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○金田西地区については、負担金を支出し、4.9%使用収益面積が拡大しました。 ○木更津駅周辺においての土地利用の共同化・高度化については、令和3年度末に優良建築物等整備事業（中央3丁目地区：旧みほし館）が完了したことにより、市街地の環境が整備されました。 ○木更津市中心市街地活性化基本計画掲載事業である、パークベイプロジェクト推進事業（鳥居崎海浜公園整備）が完了したことにより中心市街地の賑わいの創出、回遊性の向上に寄与することが見込まれます。また、街なか居住マンション建設補助事業①（木更津市中央三丁目地区）により、令和4年3月にマンションが竣工し、76戸が完売したことにより、今後中心市街地の居住人口の増加が見込まれます。		
10. 主な課題	○金田西特定土地区画整理事業の早期完了に向けて、千葉県と連携・協力していく必要があります。 ○新型コロナウイルス等の影響で、木更津市中心市街地活性化基本計画掲載事業の一部に遅れが生じているため、計画期間の変更や、関係部署とヒアリングを行う必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○令和8年度での金田西特定土地区画整理事業の完成に向けて取り組みます。 ○木更津市中心市街地活性化基本計画掲載事業の着実な実施に努め、官民連携で引き続き中心市街地活性化事業に取り組めます。 ○中央三丁目地区の優良建築物等整備事業（中央三丁目地区：旧八幡屋旅館）の推進に向けて取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策02 施策30 公園・緑地の充実	2. 取りまとめ担当課	市街地整備課
--------	-----------------------------	-------------	--------

3. 目標	良好な都市環境を維持するため、計画的な公園緑地の整備と保全に努め、地域住民等の生活環境の向上をめざします。						
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値
	都市公園面積	121.13ha	127.1ha	127.2ha	127.2ha		124.74ha



(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	パークバイプロジェクト推進事業費(鳥居崎海浜公園) (計画事業P48、進捗状況○)	215,527	0	211,211
	公園整備事業 (計画事業P49、進捗状況○)	65,000	50,000	41,080
	都市公園安全・安心対策事業 (計画事業P50、進捗状況○)	66,585	45,946	59,147
	中の島大橋改修事業 (計画事業P51、進捗状況○)	196,915	79,867	142,873
	計	544,027	175,813	454,311

7. 施策目標の達成（進捗）状況

B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	66,000	70,448	544,027		680,475
	決算見込額	45,414	69,694	454,311		569,419

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	公園の整備と緑化の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○金田東1号近隣公園については、園路やフェンスの一部を整備しました。次年度以降も整備を進め、新規近隣公園の供用開始を行い地域の公園面積が大きく増加します。 ○パークバイプロジェクトにおける鳥居崎海浜公園の整備について、公募設置管理制度(P a r k-P F I)を活用し、民間集客施設を含む事業者による公園整備を実施、3月に工事が完了しました。内港地区の新たな拠点となる施設の完成により地区の魅力向上、にぎわいの創出が図られます。		
10. 主な課題	○現在施工中の金田東1号近隣公園については、規模の大きい施設のため整備完了までに期間（令和元年度～令和4年度完了予定）が必要となっており、供用面積の伸びが鈍くなっています。 ○公募設置管理制度による民間事業者との公園運営は本市初の取り組みのため、事業運営、連絡態勢の構築等の調整が引き続き必要となります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○金田東1号近隣公園周辺の住宅の張り付き状況、地域の特性、地域住民の要望等を勘案し、公園整備を実施のうえ、早期供用開始を図ります。 ○次期整備計画のため、開園した鳥居崎海浜公園の運営業況や周辺の交通状態などの情報収集を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策02 施策31 住環境の整備	2. 取りまとめ担当課	住宅課
--------	---------------------------	-------------	-----

3. 目標	住宅に対する様々な世代のニーズや環境への配慮等を踏まえ、生活の基盤である住宅とその周辺の居住環境について快適性や安全性の向上を図り、誰もが安心して「住みたいまち」「住み続けたいまち」をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	空家バンクを通じた空家の利活用戸数	4戸 (平成31年1月末時点)	3戸	5戸	0戸		40戸 (年間8戸)	<table><caption>空家バンクを通じた空家の利活用戸数推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>R1</td><td>7</td><td>16</td></tr><tr><td>R2</td><td>12</td><td>24</td></tr><tr><td>R3</td><td>12</td><td>32</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>40</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	4	8	R1	7	16	R2	12	24	R3	12	32	R4	
年度	実績値	目標値																							
H30	4	8																							
R1	7	16																							
R2	12	24																							
R3	12	32																							
R4		40																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	木造住宅リフォーム事業（計画事業P52、進捗状況○）	900	628	628
	市営住宅長寿命化計画整備事業（計画事業P53、進捗状況○）	40,270	13,731	33,865
	空家再生等推進事業（計画事業P54、進捗状況○）	9,000	8,944	8,944
	空家リフォーム助成事業（計画事業P55、進捗状況△）	4,000	0	0
	計	54,170	23,303	43,437

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	43,000	62,059	54,170		159,229
	決算見込額	30,560	58,900	43,437		132,897

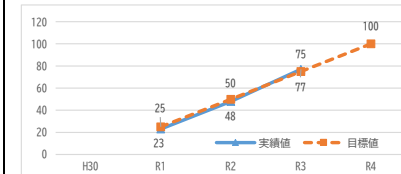
第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	住環境の向上	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○折込の成果もあり、無料耐震相談会については、15件の相談、追加で行った君津地域耐震改修促進協議会主催の相談会で2件の計17件の相談を行いました。また、木造住宅耐震診断事業については、13件の一般診断を実施し、耐震改修・リフォーム一部補助事業について6件の申請がありました。これらのことから、耐震化による震災に強いまちづくりの推進を図りました。 ○建築物省エネ法の改正について、パンフレットの配布、窓口での相談等を行い、市民への周知を行いました。 ○目標値を達成させるため、空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度のPRを行い、市民への周知を行いました。		
10. 主な課題	○市民に対して、耐震改修・リフォーム一部補助の更なる周知が必要です。 ○建築物省エネ法の改正について、さらなる周知が必要です。 ○市民に対して、空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度の周知を行います。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○引き続き、木造住宅耐震化促進事業の推進、及び周知を図ります。 ○引き続き、建築物省エネ法に基づく届出について、窓口での案内や相談等を円滑に行います。 ○出前講座及び固定資産税の納税通知書に空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度のチラシを同封するなど、引き続き市民への周知に努めます。		
8. 主な取組名称②	市営住宅の管理及び整備	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○居住性の向上を図るため、令和2年度からの前倒し工事である長須賀団地5棟26戸の便所等改修（水洗化）工事と、同団地3棟17戸について便所等改修（水洗化）工事を実施したことにより、居住環境の快適性の向上が図られました。 ○祇園団地、清見台団地、久津間団地の3団地を用途廃止しました。 ○用途廃止団地入居5世帯（岩根団地5世帯）の移転、退去を実施したことにより、団地の廃止化が計画どおり進んでいます。		
10. 主な課題	○存続団地の長寿命化を推進し、老朽化している団地の居住環境の快適性の向上を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○存続団地の長寿命化を図るため、継続して各団地の便所改修（水洗化）工事、バリアフリー工事を実施します。 ○引き続き用途廃止団地入居者の移転に係る補償費や手続きについて、各入居者の実情に応じ適切なサポートに努めて対応します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策02 施策32 良好な景観形成の推進	2. 取りまとめ担当課	都市政策課
--------	-------------------------------	-------------	-------

3. 目標	良好な景観を形成することにより、快適でうるおいのある生活環境と、生活や産業に根ざした本市の個性や文化の創出をめざします。						
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値
	景観計画区域内行為届出件数	52件 (平成28年～平成29年度)	23件	25件	29件		100件



(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	景観形成推進事業費（計画事業P56、進捗状況○）	5,000	5,000	5,000
	景観形成推進事業補助金	100	100	100
	計	5,100	5,100	5,100

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	4,105	200	5,100		9,405
	決算見込額	4,105	150	5,100		9,355

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	良好な景観形成の誘導	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○富士見通り沿道の景観形成重点地区の指定に伴い、景観基準などを分かりやすく解説するガイドラインの作成しました。このことにより、良好な景観に向けて視覚的イメージができ、市民へ理解し易いものになっております。		
10. 主な課題	○市民や関係団体との協働による「駅」と「みなと」をつなぐ新たなストリートとして、にぎわいと緑のある景観づくりを推進することが必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○重点地区の指定に伴い、景観形成重点地区支援事業補助制度を設けましたので、住民説明会を実施し、積極的に活用していただけるよう取り組みます。		
8. 主な取組名称②	良好な景観形成の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○道路脇の植樹帯等に、花の植え替え活動を行っている2団体に補助金を交付しました。市民が参画する良好な景観づくりを支援することにより、積極的な市民参加の機運の醸成につながっています。		
10. 主な課題	○活動団体が継続して活動を行えるように若い世代の方への積極的な参加を促すとともに、多くの活動団体の方に補助事業を活用できるよう予算の確保が課題になります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○引き続き、多くの市民に活用していただくため、当該補助金に対する周知を行います。 ○今後申請件数が増加することから適切な予算の確保を行い、良好な景観形成の推進に取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策03 施策33 交通体系の充実	2. 取りまとめ担当課	土木課
--------	----------------------------	-------------	-----

3. 目標	圏央道など広域幹線道路の交通量の変化に合わせ、拠点市街地を結ぶ主要幹線道路の整備や、公共交通の充実を図ることにより、日常生活における移動をよりスムーズなものとするほか、市域内外からのアクセス性を高め、回遊性のある交通ネットワークの構築をめざします。																											
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																				
	橋梁の点検進捗度	未実施 (平成30年度)	0%	22%	44%		74%	<table><caption>橋梁の点検進捗度</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R1</td><td>22</td><td>22</td></tr><tr><td>R2</td><td>44</td><td>43</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>44</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>74</td></tr></tbody></table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H30	0	0	R1	22	22	R2	44	43	R3		44	R4		74		
	年度	実績値 (%)	目標値 (%)																									
	H30	0	0																									
R1	22	22																										
R2	44	43																										
R3		44																										
R4		74																										
路線バス利用者数	2,181,778人 (平成29年度)	2,329,302人 (平成30年度)	2,579,783人 (令和元年度)	1,943,112人 (令和2年度)		2,203,000人	<table><caption>路線バス利用者数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (人)</th><th>目標値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2329</td><td>2329</td></tr><tr><td>R1</td><td>2186</td><td>2186</td></tr><tr><td>R2</td><td>2190</td><td>2190</td></tr><tr><td>R3</td><td>1943</td><td>2189</td></tr><tr><td>R4</td><td>1936</td><td>2196</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>2203</td></tr></tbody></table>	年度	実績値 (人)	目標値 (人)	H30	2329	2329	R1	2186	2186	R2	2190	2190	R3	1943	2189	R4	1936	2196	R5		2203
年度	実績値 (人)	目標値 (人)																										
H30	2329	2329																										
R1	2186	2186																										
R2	2190	2190																										
R3	1943	2189																										
R4	1936	2196																										
R5		2203																										
まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数	1件 (平成30年度)	1件	2件	2件		4件	<table><caption>まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th><th>目標値 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R3</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>4</td></tr></tbody></table>	年度	実績値 (件)	目標値 (件)	H30	1	1	R1	1	1	R2	2	2	R3	2	3	R4		4			
年度	実績値 (件)	目標値 (件)																										
H30	1	1																										
R1	1	1																										
R2	2	2																										
R3	2	3																										
R4		4																										

(単位：千円)

5. 施策達成のために	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	道路ストック修繕事業（計画事業P57、進捗状況○）	95,000	101,251	79,160
	新火葬場周辺市道整備事業（計画事業P58、進捗状況△）	314,196	133,878	149,302
	江川総合運動場周辺市道整備事業（計画事業P59、進捗状況△）	61,974	35,531	24,531
	市道6431号線道路改良事業（計画事業P60、進捗状況△）	61,000	61,504	1,756
	橋りょう長寿命化修繕事業費（計画事業P61、進捗状況○）	80,000	71,820	65,107

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

要した事業費	中野畑沢線整備事業（県営事業）（計画事業P62、進捗状況○）	53,423	26,074	15,338
	中野畑沢線整備事業（桜井工区）（計画事業P63、進捗状況○）	13,678	8,964	2,560
	下郡大稲線整備事業（計画事業P64、進捗状況○）	15,000	14,567	14,566
	地域公共交通再編事業	966	966	614
	生活路線バス維持対策費補助金	66,898	51,715	40,776
	計	762,135	506,270	393,710

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	637,017	766,014	762,135		2,165,166
	決算見込額	319,457	506,002	393,710		1,219,169

8. 主な取組名称①	道路網の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和2年度より2巡目の橋りょう定期点検を実施し、令和3年度までに44%（109橋/245橋）の定期点検が完了し橋梁の点検進捗度が向上しました。また、令和2年度に改訂した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、令和3年度は4橋の橋梁修繕工事を実施し、橋梁の長寿命化を図り、さらに長寿命化を図るため、3橋の詳細設計を実施しました。 ○令和2年度に改訂した木更津市舗装修繕計画に基づき、令和3年度は4路線（1.9km）の舗装修繕工事を実施し、舗装の長寿命化を図りました。 ○新火葬場周辺市道整備事業については、物件調査、用地測量、不動産鑑定、用地取得及び物件補償を実施し、道路改良工事（L＝149m）に着手しましたが、占用物件の移設に不測の期間を要したため、予算を繰越して実施します。 ○江川総合運動場周辺市道整備事業については、国有地の取得に不測の期間を要したことから、道路幅員を拡幅する道路改良工事（L＝154m）の着手に遅れが生じたため、予算を繰越して実施します。 ○市道6431号線道路改良事業については、道路工事に支障のある電柱の移設を実施し、道路幅員を拡幅する道路改良工事（L＝106m）に着手しましたが、工事の入札不調が2回あったため、予算を繰越して実施します。 ○中野畑沢線整備事業（県営事業）については、県事業の事業費の一部を負担するとともに、用地取得を行い本路線の整備に向けて事業の進捗を図りました。 ○中野畑沢線整備事業（桜井工区）については、物件調査、用地測量、不動産鑑定、用地取得及び物件補償を実施し、本路線の整備に向けて事業の進捗を図りました。 ○下郡大稲線整備事業については、道路修正設計、ボーリング調査を実施し事業の進捗を図りました。		
10. 主な課題	○橋梁長寿命化事業では、大規模な橋や鋼橋についても修繕工事を進めていく必要があり、1橋当たりの修繕工事費の増加が想定されるため、複数年度に分けた修繕工事の実施など検討することが求められます。 ○道路ストック修繕事業では、舗装修繕の対象箇所が多くあるため、計画的な修繕工事を実施し舗装の長寿命化を図ることが求められます。 ○幹線道路整備については、用地取得が難航し計画的に整備することが困難な状況です。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○橋梁長寿命化事業・道路ストック修繕事業では、国庫補助や起債制度を引き続き活用しながら、定期点検や修繕工事の計画的な実施に努めます。 ○幹線道路整備については、今後も用地取得を実施し、計画的に工事を実施するよう努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	公共輸送の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○地域の需要に応じた新たな交通システムとして、地域住民や交通事業者等と協議を重ね、富来田地区において令和2年7月から自家用有償旅客運送の実証運行を開始し、令和3年7月から本格運行へ移行しました。他の地区においても地域住民や交通事業者等と協議を重ねつつ、新たな交通システムの導入について検討しています。 ○木更津市地域公共交通網形成計画及び木更津市地域公共交通再編実施計画に基づき、バス路線を効率的で利便性の高いものとするため、地域住民や交通事業者と協議し、令和3年7月及び10月にバス路線の再編を実施しました。 ○平成30年12月に路線バスの大幅な減便が行われた波岡地区等（八幡台、羽鳥野、上烏田、中烏田、下烏田、大久保、真舟）について、令和元年度に実施した住民アンケートや住民意見交換会を踏まえつつ、令和3年8月から運行内容を見直し、利用者の利便性を考慮して循環線を導入しました。		
10. 主な課題	○「路線バス利用者数」の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響とそれに伴う新しい生活様式の浸透、自家用自動車への依存の高まりや、少子高齢化の影響と考えられます。 ○巖根駅への総武線快速停車については、JRに対する請願事項であることから多額の経費が見込まれます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域によって交通に関する課題が異なることから、引き続き地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域特性に応じた交通ネットワークの構築を図ります。 ○新たな交通システムを持続可能なものとするため、地域のニーズを把握するとともに、法定協議会において協議したうえで、地域の自主性を尊重した効率的な運行をめざします。 ○巖根駅への総武線快速停車について、引き続き、整備に関する課題や負担割合等を含めたJRとの協議などを推進します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策03 施策34 港湾機能の充実	2. 取りまとめ担当課	産業振興課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	重要港湾である木更津港の整備を進めることで、内港地区における海辺の賑わい空間づくりや木更津南部地区における物流機能強化並びに大型クルーズ船の受入環境の充実にめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	県港湾計画の進捗率 (内港整備分)	12% (平成30年度 実績値)	12%	12%	12%		36%	<table><caption>進捗率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>R1</td><td>12</td><td>18</td></tr><tr><td>R2</td><td>12</td><td>24</td></tr><tr><td>R3</td><td>12</td><td>30</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>36</td></tr></tbody></table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H30	12	12	R1	12	18	R2	12	24	R3	12	30	R4	
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																							
H30	12	12																							
R1	12	18																							
R2	12	24																							
R3	12	30																							
R4		36																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	木更津港湾整備事業県負担金（計画事業P65、進捗状況○）	171, 147	93, 069	123, 829
	計	171, 147	93, 069	123, 829

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	127, 639	149, 140	171, 147		447, 926
	決算見込額	52, 689	73, 314	123, 829		249, 832

8. 主な取組名称①	港湾環境の整備	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○老朽化が進む岸壁、橋梁などの耐震化や施設改修を行うと共に、吾妻地区の小型桟橋係留施設の整備を行い、物流事業者等の経済活動を支える事業を進めました。		
10. 主な課題	○千葉県が行う港湾計画に基づき、関係する団体等の理解を得ながら整備の促進を図ります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○引き続き千葉県の「木更津港港湾計画」に基づいて木更津港の整備に努めます。 また、老朽化が一層進む岸壁、橋梁の計画的な改修を進め、港湾物流機能の確保、ひいては経済活動を支えてまいります。 事業の進捗については、千葉県の事業計画に左右されますが、みなとまち木更津再生プロジェクトを実現するため、事業の促進を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策04 施策35 上水道の充実	2. 取りまとめ担当課	企画課
--------	---------------------------	-------------	-----

3. 目標	市民生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインとして、「かずさ水道広域連合企業団」が行う安全・安心な水道水の安定供給と、継続可能な経営基盤の強化を支援します。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1実績値	R 2実績値	R 3実績値	R 4実績値	目標値	グラフ

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	かずさ水道広域連合企業団負担金	470	669	669
	かずさ水道広域連合企業団出資金	118,100	117,500	116,300
	計	118,570	118,169	116,969

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	29,459	94,180	118,570		242,209
	決算見込額	29,359	81,180	116,969		227,508

8. 主な取組名称①	安定した水道水の供給と経営基盤の強化	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○水道事業に関する適正な維持管理や更新事業を実施するため、専門技術を有する職員を含め28名（うち再任用2名）かずさ水道広域連合企業団へ派遣しました。 ○かずさ水道広域連合企業団に対し、安定した水源確保や経営基盤の強化を支援するため、児童手当の給付に要する経費を負担するとともに、災害対策（耐震化事業）に係る経費や統廃合事業等に要する経費を出資しました。		
10. 主な課題	○かずさ水道広域連合企業団の円滑な運営等に協力するため、引き続き構成団体で運営に関して協議していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○安全・安心な水道水の安定供給と持続可能な経営基盤の強化を支援するため、引き続き専門技術を有する職員をかずさ水道広域連合企業団へ派遣するとともに、用水供給事業や統廃合事業等に対し、継続的に出資金及び負担金を支出します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策03 施策36 下水道等の整備	2. 取りまとめ担当課	下水道推進室
--------	----------------------------	-------------	--------

3. 目標	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	下水道普及率	53.0% (平成29年度)	55.2%	55.7%	55.8%		57.5%	<table><caption>下水道普及率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実数値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>54.5</td><td>53.9</td></tr><tr><td>R1</td><td>55.2</td><td>54.8</td></tr><tr><td>R2</td><td>55.7</td><td>55.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>55.8</td><td>56.6</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>57.5</td></tr></tbody></table>	年度	実数値	目標値	H30	54.5	53.9	R1	55.2	54.8	R2	55.7	55.7	R3	55.8	56.6	R4	
年度	実数値	目標値																							
H30	54.5	53.9																							
R1	55.2	54.8																							
R2	55.7	55.7																							
R3	55.8	56.6																							
R4		57.5																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	排水路整備事業	29,000	29,000	27,039
	岩根ポンプ場改修事業	5,200	5,709	5,709
	汚水処理施設維持補修事業	396	396	363
	岩根地区排水路整備事業費（計画事業P67、進捗状況○）	36,000	34,819	24,919
	計	70,596	69,924	58,030

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	32,900	36,900	70,596		140,396
	決算見込額	29,857	33,504	58,030		121,391

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	排水路の整備及び維持管理	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○排水路整備工事については、中尾地内（工事延長L＝73.8m）、高柳地内（工事延長L＝36.0m）、瓜倉地内（工事延長L＝80.2m）、長須賀地内（工事延長L＝51.7m）の4か所の工事を実施し、生活環境の改善を図りました。 ○岩根地区（本郷一丁目）の排水不良解消を図るため、詳細設計を実施し、来年度予定の工事を前倒しし、管渠の布設工事（L＝47m）を予算を繰越して実施します。		
10. 主な課題	○排水機能の向上や維持を図るため、計画的な工事及び清掃の実施が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後も、降雨時の浸水被害の防止や生活環境の向上のため、計画的に工事および清掃を実施し、適切な維持管理を行います。		
8. 主な取組名称②	地域污水处理場の適切な維持管理	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○地域污水处理場と管渠の適切な維持管理及び計画的な修繕を行い、快適な生活環境を維持しました。		
10. 主な課題	○安定した污水处理を継続して実施するため、処理施設の老朽化に伴う機器の更新が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域污水处理場については、今後、処理施設の共同化の検討において中継ポンプ場として改修し、公共下水道に接続することで、維持管理経費を低減させます。		
8. 主な取組名称③	都市下水路の適切な管理	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○都市下水路として、降雨時の排水機能の確保に必要な改修工事、補修工事及び清掃委託を実施し、計画的な維持管理を行うことで、施設の長寿命化を図りました。		
10. 主な課題	○施設の老朽化が進んでおり、今後も継続して排水機能を確保するため計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後も降雨時の浸水被害の防止のための工事及び清掃を実施し、計画的な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称④	下水道施設の整備・適切な管理	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○災害時等の停電に備え、中継ポンプ場の自家発電施設の新設及び更新を行いました。		
10. 主な課題	○施設の老朽化が進み、修繕及び更新が必要な施設が増えています。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○施設の修繕・更新には多額の費用がかかるため、国の補助金等を活用したうえで順次、修繕等を実施します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策04 施策37 資源循環の推進	2. 取りまとめ担当課	まち美化推進課
--------	----------------------------	-------------	---------

3. 目標	ごみの発生抑制（Reduce：リデュース）・再利用（Reuse：リユース）・再資源化（Recycle：リサイクル）の3Rを推進することで、快適で住み良い持続可能な「循環型社会」の形成をめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	1人1日当たりのごみ排出量	1,125g (平成29年度実績値)	1,196g	1,157g	1,132g		1,040g	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1138</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>1196</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>1157</td><td>1069</td></tr><tr><td>R3</td><td>1132</td><td>1055</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>1040</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	1138		R1	1196		R2	1157	1069	R3	1132	1055	R4		1040
	年度	実績値	目標値																							
H30	1138																									
R1	1196																									
R2	1157	1069																								
R3	1132	1055																								
R4		1040																								
リサイクル率	21.5% (平成29年度実績値)	20.5%	21.7%	21.3%		32%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>20.19</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>20.51</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>21.72</td><td>30.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>21.28</td><td>30.9</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>32</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	20.19		R1	20.51		R2	21.72	30.1	R3	21.28	30.9	R4		32	
年度	実績値	目標値																								
H30	20.19																									
R1	20.51																									
R2	21.72	30.1																								
R3	21.28	30.9																								
R4		32																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	資源ごみ処理処分業務委託費	193,820	193,820	193,820
	ごみ減量化資源化推進助成金	6,300	4,070	3,265
	一般廃棄物収集運搬業務委託費	432,048	431,709	431,709
	君津地域広域廃棄物処理事業費	1,465,259	1,484,753	1,446,360
	最終処分関係費	77,593	84,485	81,584
	第2期君津地域広域廃棄物処理事業（計画事業P67、進捗状況○）	5,000	2,096	2,074
	計	2,180,020	2,200,933	2,158,812

7. 施策目標の達成（進捗）状況

B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	2,116,825	2,367,466	2,180,020		6,664,311
	決算見込額	2,108,102	2,365,731	2,158,812		6,632,645

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	ごみの排出抑制と再資源化の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○リサイクルへのさらなる関心を持ってもらうため、オーガニックシティフェスティバル2021イベントに参加し、フードドライブ・小型家電回収・エコドライブシュミレーション等を実施しました。		
10. 主な課題	○ごみ排出量・リサイクル率が共に目標値を下回っていることから、ごみの減量化・資源化に関する情報を発信し、リサイクル意識の向上を促進することが必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○資源ごみの回収や各家庭での生ごみ処理機等の購入など、引き続きごみの減量化・資源化に関する情報の発信に努めます。また、3R推進の周知策の実施や、事業用大規模事業者の所有者又は使用者に対する廃棄物の減量化を求め、廃棄物の減量化及び資源化について意識の向上を図ります。		
8. 主な取組名称②	廃棄物の適正処理	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○君津地域4市と安房地域2市1町との広域廃棄物処理事業については、令和3年4月に広域廃棄物処理事業協議会を本市から富津市へ移設し、負担割合協定書に基づき算出された負担金を富津市に支払いました。令和9年度の次期処理施設の稼働に向け取り組んでいます。		
10. 主な課題	○廃棄物の収集運搬について、直営業務員が年々減少する見込みであることから、さらなる民間委託の検討が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○新たな広域廃棄物処理施設の稼働に向けた取り組みを進めます。 ○民間委託の拡大を含めた業務体制の見直しを進めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策04 施策38 生活衛生の向上	2. 取りまとめ担当課	生活衛生課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	生活衛生施設の適正な維持管理を図り、切れ目のない衛生サービスを提供することにより、都市環境の保全や市民の公衆衛生の向上をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	狂犬病注射接種率	69.8% (平成29年度 実績値)	71.7%	73.3%	75.20%		72.4%	
	生活排水処理率	66.7% (平成29年度 実績値)	69.8%	72.84%	74.9%		71.9%	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	狂犬病予防費	1,541	1,477	1,468
	感染症予防対策費	101	77	77
	合併処理浄化槽設置事業補助金（計画事業P68、進捗状況○）	15,050	15,050	11,386
	新川園衛生処理場等維持管理業務委託費（包括的民間委託）	83,050	80,300	80,300
	火葬場指定管理料	27,540	27,540	27,540
	火葬場運営諸経費	3,025	3,066	3,066
	火葬場維持補修費	3,000	5,108	5,108
	新火葬場整備事業（計画事業P69、進捗状況○）	0	0	0
	公衆便所維持管理費	6,753	5,632	5,532

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

第2次基本計画（施策）進行管理票

	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術等推進事業費	400	287	266
	霊園維持管理運営費	11,657	13,007	11,833
	霊園維持補修費	1,155	1,155	1,133
	霊園整備事業費	1,181	1,180	1,180
	霊園指定管理料	23,100	23,100	23,100
	計	177,553	176,979	171,989

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	91,447	103,452	177,553		372,452
	決算見込額	90,962	102,243	171,989		365,194

8. 主な取組名称①	公衆衛生対策の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○居所不明犬の調査を実施し、狂犬病予防法に基づく畜犬登録数の整理を行うとともに、「災害時における動物救護活動に関する協定書」をかずさ地域獣医師会と締結するなど、市民とペットの安心・安全の確保を図りました。 ○所管する4か所の公衆トイレの維持管理に努め、木更津駅西口公衆便所の非常押釦移設工事、證誠寺公衆便所の詰まりなどの修繕を行いました。 ○地域猫活動について、保健所やボランティアと連携し、地域住民へ周知を図りました。また、地域猫不妊・去勢手術費補助金を木更津市内の地域猫活動団体に不妊手術12匹、去勢手術7匹の合計19匹分交付しました。		
10. 主な課題	○引き続き、狂犬病予防接種率の向上を図るとともに、予防対策の効果的な施策を検討していく必要があります。 ○地域猫活動に関して、今後も地域住民へ活動及び補助金交付制度を周知し、地域の猫問題の解決を図る必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○狂犬病予防接種未実施の飼い主への勧奨指導、所管する公衆トイレの適切な維持管理、地域猫活動及び補助金制度の周知による地域の猫問題の解決に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	火葬場や霊園の整備、維持管理	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○引き続き指定管理者制度を活用し、経費節減や利便性の向上を図りました。 ○火葬場については、炉内耐火台車打替修繕工事、燃焼炉セラミックファイバー補修工事等を行い、火葬場設備の適切な管理に努めました。 ○霊園については、空き墓地の大区画を小区画に分割することにより、小規模区画の取得を希望する市民のニーズに対応しました。 ○新火葬場整備事業については、令和元年度から実施している設計・建設モニタリング業務を引き続き進め、要求水準を確保しました。		
10. 主な課題	○老朽化による火葬場設備の損壊が発生しており、設備検査を踏まえ、必要な修繕工事を行う必要があります。 ○霊園については、事故の予防のための補修など利用者の安全性を向上させる必要があります。 ○新火葬場整備事業については、建設工事において、周辺住民への影響が発生しており、適切な対策を講じる必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○火葬場運営を効率的かつ効果的に行うため、引き続き指定管理者制度を活用し、加えて必要な修繕工事を行います。 ○霊園については、事故の予防等、安全性の向上のために必要な修繕工事や環境整備を行います。 ○新火葬場整備事業については、設計・建設モニタリング業務において、引き続き、定例会等を通して事業者との連携を一層強化しつつ確実に実施するとともに、周辺住民への影響を最小限に留めるよう対策を講じます。		
8. 主な取組名称③	し尿の適正処理	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○新川園衛生処理場について、包括的民間委託契約の締結により適正な維持管理のほか、攪拌機やトラックスケールの修理・補修を実施し施設維持補修に努めました。		
10. 主な課題	○新川園衛生処理場の老朽化対策が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○老朽化が著しい新川園衛生処理場について、施設の機能を損なう事の無いよう計画的な補修及び改修に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策05 施策39 自然環境の保護	2. 取りまとめ担当課	環境政策課
--------	----------------------------	-------------	-------

3. 目標	貴重な生物の生息地である自然環境の保護に努めるとともに、次世代に良好な自然環境を引き継ぐことをめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	特定外来生物等の捕獲頭数	57頭 (平成29年度 実績値)	72頭 (令和元年度 実績値)	72頭 (令和2年度 実績値)	99頭 (令和3年度 実績値)		60頭以上	<table><caption>グラフデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>50</td><td>60</td></tr><tr><td>R1</td><td>72</td><td>60</td></tr><tr><td>R2</td><td>72</td><td>60</td></tr><tr><td>R3</td><td>99</td><td>60</td></tr><tr><td>R4</td><td>60</td><td>60</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	50	60	R1	72	60	R2	72	60	R3	99	60	R4	60
年度	実績値	目標値																							
H30	50	60																							
R1	72	60																							
R2	72	60																							
R3	99	60																							
R4	60	60																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	盤洲干潟保全事業費	966	513	489
	計	966	513	489

7. 施策目標の達成（進捗）状況

A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	262	263	966		1,491
	決算見込額	175	122	489		786

8. 主な取組名称①	自然環境の保全	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○自然保護団体・地元まちづくり協議会・市等で構成される盤洲干潟実行委員会を立ち上げ盤洲干潟保全及び自然環境保全の啓発のために、5月に盤洲干潟クリーン作戦を実施しました。 ○地元小学校の干潟自然観察会のために、仮設トイレを設置し、活動を支援しました。 ○干潟の保全活動や自然観察会が円滑に実施できるよう、遊歩道の除草及び碎石敷を行い、維持整備を行いました。 ○特定外来生物等の捕獲のため、100件の箱わなの貸し出しを行い、アライグマ86頭、ハクビシン13頭、合計99件、捕獲動物の処分を行いました。		
10. 主な課題	○盤洲干潟クリーン作戦については、令和3年度から主催が盤洲干潟実行委員会となったため、円滑な運営ができるよう支援が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○盤洲干潟クリーン作戦について、地元まちづくり協議会や地元ボランティアも加わった実行委員会が発足し今後継続ができるよう、補助金の交付等の支援を行うとともに、広報活動を充実し、自然環境のシンボルとしての干潟の保全及び自然環境保全に関する意識のさらなる向上に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向05 基本政策05 施策40 環境の保全	2. 取りまとめ担当課	環境政策課
--------	--------------------------	-------------	-------

3. 目標	良好な環境を維持・向上させ、環境汚染の防止に努めるとともに、地域環境の美化促進・美観風致の維持を図り、快適で住みよい環境の実現をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	温室効果ガス総排出量	12,053 t (平成29年度 実績値)	12,626 t (平成30年度 実績値)	10,555 t (令和元年度 実績値)	10,358 t (令和2年度 実績値)		11,500 t	
	雑草等刈取り実施率	81.1% (平成29年度)	84.8%	82.6%	80.8%		82%	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	大気汚染対策費	8,150	11,534	9,323
	水質汚濁対策費	3,110	2,721	2,721
	騒音・振動対策費	4,345	4,419	3,457
	ダイオキシン類分析事業費	1,045	913	913
	地球温暖化対策事業費	313	313	303
	先端技術産業環境保全対策費	459	396	396
	市民まち美化活動費	612	595	594
	住宅用省エネルギー設置導入促進事業（計画事業P70、進捗状況○）	18,650	12,553	12,553
	計	36,684	33,444	30,260

7. 施策目標の達成（進捗）状況
A

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	20,739	31,443	36,684		88,866
	決算見込額	20,113	31,205	30,260		81,578

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	環境・発生源の監視	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○本市の 대기・水質環境を把握するため、各種調査を実施し現状を確認しました。 また、環境悪化の防止を図るため、広報や啓発活動に取り組みました。 ○年間を通じて航空機騒音を監視するとともに、千葉県、近隣市と協力して国に申し入れを行い、騒音の低減に取り組みました。 ○発生源監視のため、事業所に対する立入調査を行い、必要に応じ指導等を実施しました。		
10. 主な課題	○より安心・安全で快適に暮らせる生活環境の確保が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○本市の環境を把握するため、 대기、水質、騒音の各種調査を実施し、より良い生活環境を確保するため、引き続き広報・啓発活動に努めます。 また、発生源監視のため、事業所に対する立入調査を行い、必要に応じ指導等を実施します。		
8. 主な取組名称③	環境保全活動の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○令和2年3月に策定した木更津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）「きさらづストップ温暖化プラン」の実行性を高めるため、行政と民間事業者が連携して計画を推進する事業提案制度を創設し、温室効果ガスの削減につながる事業性の高い提案を募集しました。応募のあった事業の内、3事業を採用し、事業実施に向けて取り組みました。		
10. 主な課題	○引き続き「きさらづストップ温暖化プラン」の市民、市内事業者への普及啓発が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○プランの実行性を高めるため、庁内の所管課と協力し、地球温暖化対策実行計画を推進し、その効果を検証します。		
8. 主な取組名称④	環境美化対策の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○「犬ふん防止看板」「不法投棄防止看板」の作成・配布しました。 ○雑草等処理対策の刈取り実施率80%を達成しました。		
10. 主な課題	○市街地のポイ捨て、山間部の不法投棄及び犬ふん放置は未だ発生しております。 ○一定数の雑草が繁茂している空き地があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○定期的なパトロールの実施及び必要に応じ千葉県等の関係機関と連携した適時・適切な指導等を実施します。 ○継続して定期調査を実施し、地区担当者と密に連絡を行うことで雑草の刈り取りにつなげます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策01 施策41 市民参加の推進	2. 取りまとめ担当課	企画課
--------	----------------------------	-------------	-----

3. 目標	広報ささらびや市公式ホームページをはじめ、様々な広報媒体を積極的に活用することで、市民と行政の情報共有を図るとともに、市民等の行政への参加の機会をより多く提供することにより、政策形成やまちづくりの市民参加の拡大をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	委員を公募する審査会等の割合	51.9% (平成30年度)	30.6%	32.1%	42.9%		70%	
	本市独自のアプリケーション（らづナビ）ダウンロード数	未実施 (平成30年度)	11,529件	5,067件	6,711件		20,000件 (累計)	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	市民がつながる生活総合アプリケーション等管理運営費	4,462	4,462	4,462
	市民意識調査実施事業費	898	848	718
	計	5,360	5,310	5,180

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

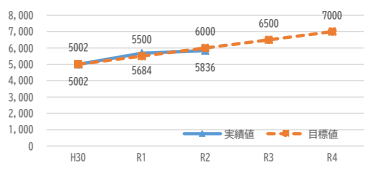
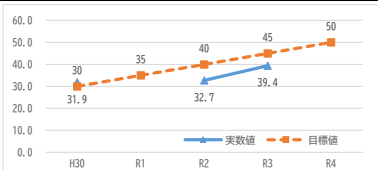
6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	43,516	6,189	5,360		55,065
	決算見込額	41,935	6,189	5,180		53,304

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	市民参加の拡大	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○審議会等の委員の公募や政策の形成過程における市民等の行政への参画の機会を提供するため、「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図りました。 ○市民からの意見を政策等へ反映させるために実施している意見公募手続については、より多くの意見が寄せられるよう、らぶナビやデジタルサイネージの活用、公民館等でのわかりやすい掲示に努め、周知を図りました。 ○市の取組に対する満足度や優先度等を調査・分析し、今後の施策展開に反映させるため、市民2,000人を対象とした市民意識調査を実施しました。		
10. 主な課題	○公募制が適当であると認められる審議会等において、積極的な導入が図られるよう、市民参加の機会を拡大していく必要があります。 ○意見公募制度が形骸化してきており、周知方法や新たな意見の収集方法等を検討する必要があります。 ○市民意識調査の回答方法にインターネット方式を追加したものの、若年層の回答率は前回比で横ばいとなっており、より幅広い年齢層から多くの意見を施策展開に反映させるために、抽出や周知方法などを工夫する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和2年度に改正した「附属機関等の委員の選任等指針」に基づき、引き続き委員選出の促進を図ります。 ○意見公募手続を円滑に実施することにより、市民等の行政への参加機会をより多く提供することにより、市政への市民参画の拡大に努めます。 ○社会情勢や価値観等の多様化に伴う市民ニーズの変化を捉え、より市民に寄り添った施策を展開するため、市民意識調査を定期的 to 実施します。		
8. 主な取組名称②	市民との情報共有の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○らぶナビのダウンロード数は、市ホームページとの連動や予約機能の活用により、目標値を上回ることができました。		
10. 主な課題	○求められている情報を、対象者に的確に伝えるため、発信する情報に応じてターゲットを絞り、能動的に発信していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○アプリケーションの使用に限らず、現在所有している情報発信媒体の特徴を掴み、最小の取組で最大の効果を発揮するような情報発信に取り組めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策01 施策42 魅力発信力の強化	2. 取りまとめ担当課	シティプロモーション課
--------	-----------------------------	-------------	-------------

3. 目標	木更津の魅力を積極的かつ効果的に市内外に発信することにより、定住・交流人口の増加や観光・産業の振興を促進し、さらに市の魅力を強化していく好循環の創出をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	Facebookページの「いいね！」への件数	5,002いいね (平成31年1月時点)	5,684いいね (令和2年3月時点)	5,836いいね (令和2年3月末時点)	5,903いいね (令和3年3月末時点)		7,000いいね	 <table border="1"><caption>Facebookページの「いいね！」への件数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>5,002</td><td>5,500</td></tr><tr><td>R1</td><td>5,684</td><td>6,000</td></tr><tr><td>R2</td><td>5,836</td><td>6,500</td></tr><tr><td>R3</td><td>5,903</td><td>7,000</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	5,002	5,500	R1	5,684	6,000	R2	5,836	6,500	R3	5,903	7,000		
	年度	実績値	目標値																						
H30	5,002	5,500																							
R1	5,684	6,000																							
R2	5,836	6,500																							
R3	5,903	7,000																							
木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合	31.9% (平成30年度市民アンケート結果)	—	32.7% (令和2年度市民アンケート結果)	39.4% (令和3年度市民アンケート結果)		50%	 <table border="1"><caption>木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>31.9</td><td>30</td></tr><tr><td>R1</td><td>32.7</td><td>35</td></tr><tr><td>R2</td><td>39.4</td><td>40</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>45</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>50</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	31.9	30	R1	32.7	35	R2	39.4	40	R3		45	R4		50
年度	実績値	目標値																							
H30	31.9	30																							
R1	32.7	35																							
R2	39.4	40																							
R3		45																							
R4		50																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	広報きさらづ発行費	24,846	24,659	24,162
	市民がつながる生活総合アプリケーション等管理運営費	4,462	4,462	4,462
	ラジオ広報費	2,310	2,310	2,310
	動画制作・放送事業費	3,311	3,311	3,311
	地域情報魅力発信事業費	2,015	2,064	2,020
	木更津PR大使・木更津ふるさと応援団事業費	99	99	74
	マスコットキャラクター活用事業費	124	65	23
	計	37,167	36,970	36,362

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	43,647	43,411	37,167		124,225
	決算見込額	42,057	42,723	36,362		121,142

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	木更津の魅力発信	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○広報ささらづや市ホームページ、SNS等の各種媒体で木更津の魅力発信を行ったことで、市民アンケートでは木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合が前回値を上回ることができました。		
10. 主な課題	○広報ささらづや市ホームページ、SNS等の各種媒体を用いて、市内住民に対しては生活に根ざした情報を、市外住民に対しては本市の特色を発信することで、市内外からの魅力が向上していると感じてもらえる情報発信に努めます。 ○Facebookへのいいね件数は、ここ数年横ばいが続いており、一つの媒体に限らず情報を届けたい対象に応じた発信方法を検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○市の情報発信を行っているSNSの登録者や広報紙に対するアンケート結果から、どの媒体でどの対象者に対し、どの情報を発信していくことが効果的であるかを分析し、効果的な情報発信に努めます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策01 施策43 移住・定住の推進	2. 取りまとめ担当課	産業振興課
--------	-----------------------------	-------------	-------

3. 目標	東京都心に近接するとともに、豊かな自然環境をあわせ持つ本市の特性を活かし、移住・定住者の増加をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	暮らし体験イベントへの参加者	10人 (平成29年度)	6人	0人	0人		20人	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	移住・定住推進事業	1,000	1,000	968
	計	1,000	1,000	968

7. 施策目標の達成（進捗）状況

B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	1,376	0	1,000		2,376
	決算見込額	1,340	0	968		2,308

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	移住・定住相談窓口の充実	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○移住・定住相談窓口専用のLINE公式アカウント「木更津市移住・定住相談窓口」を令和3年2月に開設し、令和4年3月末でチャット相談90件、友だち追加数377名でした。（相談件数は84件（内訳：電話7件、窓口3件、メール3件、LINE71件）） ○相談者の移住・定住に係る様々な疑問に対応するとともに、（一社）千葉県宅地建物取引業協会南総支部及びNPO法人木更C o Nとの3者協定に基づき、物件情報や暮らし情報などの情報提供等を行った結果、令和3年度の移住者は3件でした。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、リモートワークや二拠点居住など、新しい暮らし方が普及していることから、それらのニーズに対応した移住施策や新しい暮らし方が叶う街としてのPRを県外へ周知する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○相談窓口の周知及び活用を促すとともに、様々な相談に迅速かつ細やかに対応できるよう、LINE公式アカウントを活用したオンライン相談等、相談窓口の充実に図ります。 ○相談者から寄せられる声や転出・転入の動向、市ホームページやSNS等のインターネットから得られた情報を分析し、将来のまちづくりの担い手となる若者の転出防止策の研究などを通し、業務を効果的かつ戦略的に進めます。		
8. 主な取組名称②	魅力発信力の強化及び暮らし体験イベント等による働きかけ	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和3年度は暮らし体験イベントは実施しませんでした。 ○効果的な情報発信等を行うため、令和3年12月に令和2年度転入者へアンケート調査を行い、魅力発信エリア及びターゲット層の絞り込みに努めました。 ○移住・定住PR動画「ちょうどいい距離、心地いい時間。」を作成し、市公式YouTubeチャンネル「きさらづプロモチャンネル」にて令和4年3月23日に公開した結果、3月末までにLINE公式アカウントへ新たに5件の友だち追加がありました。		
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、リモートワークや二拠点居住など、新しい暮らし方が普及していることから、これまで行っていた単一的な移住を目指した暮らし体験イベントに限らず、オンラインでの移住者相談イベント等、新しい暮らし方が叶う街として広くPRするイベント等にシフトしていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○主に令和3年度実施の移住アンケート調査によって絞り込んだターゲット層に向けて、パンフレットや動画配信等での本市の魅力発信に努めるとともに、オンライン相談会の実施やオンライン内覧会の開催等、広くPRできるイベントの実施に取り組みます。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策02 施策44 オーガニックなまちづくりの推進	2. 取りまとめ担当課	オーガニックシティ推進課
--------	------------------------------------	-------------	--------------

3. 目標	持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方である「オーガニック」をまちづくりの視点として、地域社会を構成する多様な主体が一体となり、本市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承することをめざします。																									
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																		
	「オーガニックなまちづくり」の認知度	45.2% (平成30年度市民アンケート結果)	—	50.5% (令和2年度市民アンケート結果)	58.0% (令和3年度市民アンケート結果)		80%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>R1</td><td>44.7</td><td>55</td></tr><tr><td>R2</td><td>50.5</td><td>65</td></tr><tr><td>R3</td><td>58</td><td>75</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>80</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	45	45	R1	44.7	55	R2	50.5	65	R3	58	75	R4		80
	年度	実績値	目標値																							
H30	45	45																								
R1	44.7	55																								
R2	50.5	65																								
R3	58	75																								
R4		80																								
オーガニックアクション宣言企業認定数	29件 (平成31年1月末現在)	23件	9件	12件		70件	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>R1</td><td>52</td><td>40</td></tr><tr><td>R2</td><td>61</td><td>50</td></tr><tr><td>R3</td><td>73</td><td>60</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>70</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	29	30	R1	52	40	R2	61	50	R3	73	60	R4		70	
年度	実績値	目標値																								
H30	29	30																								
R1	52	40																								
R2	61	50																								
R3	73	60																								
R4		70																								

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	オーガニックシティ戦略推進事業費（計画事業P71、進捗状況○）	4,000	4,000	3,656
	計	4,000	4,000	3,656

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	4,500	3,994	4,000		12,494
	決算見込額	4,398	3,703	3,656		11,757

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	オーガニックなまちづくりの普及啓発	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○オーガニックなまちづくりの認知度向上を図るため、SNS等（FB:フォロワー数593、Instagram:フォロワー958、Line:友だち200）を活用し、幅広い世代へ情報発信を図りました。 ○11月のオーガニックシティフェスティバルでは、市内外から約7,600人の来場者が訪れ、食事や体験を通してオーガニックに触れてもらうことで、「オーガニックなまちづくり」の推進を図りました。 ○オーガニックなまちづくりを実践する企業であるオーガニックアクション宣言企業として12企業を新たに認定しました。		
10. 主な課題	○オーガニックなまちづくりを市民・行政・企業が一体となって進めていくうえには、オーガニックなまちづくりの理解及び認知度を高めていく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○継続した事業実施によるオーガニックなまちづくりの更なる浸透及び市内部に対して、細かな情報共有の実施を行うことでオーガニックなまちづくりの理解度向上に向けて取り組みます。		
8. 主な取組名称②	行動計画の策定と進行管理	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○「第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン 木更津SDGs推進モデル ORGANIC CITY PROJECT」における各取組の進捗状況を市公式HPやSNS等で市民に周知を行いました。		
10. 主な課題	○各プロジェクトの施策間での連携、また、進捗がみられない取組をどのように進行していくのか検討が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○継続して取組の進捗状況を確認していくとともに、進捗がみられない取組については個別のヒアリングを実施し、円滑な進捗が図れるよう調整を行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策02 施策45 協働によるまちづくりの推進	2. 取りまとめ担当課	市民活動支援課
--------	----------------------------------	-------------	---------

3. 目標	地域自治のさらなる推進に向け、地区まちづくり協議会と連携するとともに、市民活動支援センターを活用し、市民協働を促進することにより、地域の課題の解決に自ら取り組む「市民力」「地域力」の高いまちづくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	地区まちづくり協議会の設立割合	46.7% (平成30年度)	53.3%	73.3%	86.6%		100%	
	市民活動支援センター来場者数	14,339人 (平成29年度)	28,152人	9,035人	11,592人		24,000人	
	行政ポイント付与件数	未実施 (平成30年度)	3,175件	1,674件	2,721件		4,000件	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	地域自治の充実に向けた制度推進事業費	10,271	10,271	8,480
	市民活動支援センター指定管理料	15,300	15,300	15,300
	市民活動支援センター管理運営諸経費	7,170	7,170	7,170
	市民活動支援センター運営協議会委員報酬	120	120	80
	行政ポイント推進事業費	3,996	6,700	4,173
	計	36,857	39,561	35,203

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	28,379	33,061	36,857		98,297
	決算見込額	28,001	30,533	35,203		93,737

8. 主な取組名称①	地域自治の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○令和3年10月に市内12地区目となる「波岡西地区まちづくり協議会」が設立され、令和4年3月には市内13地区目となる「波岡公民館地区まちづくり協議会」が設立されました。 ○地区まちづくり協議会に財政的支援として地域自治振興補助金の交付、人的支援として地域推進職員制度による市職員の派遣を実施し、地域自治の充実及び協働の推進を図りました。		
10. 主な課題	○地区まちづくり協議会未設立地区は、木更津第二中学校地区のみとなりましたが、範囲が広く地区割について整理する必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○地域自治の拠点となる各公民館と連携し、さらなる地域自治の充実及び協働の推進を図るとともに、地区まちづくり協議会未設立地区においては、地域の方々の意見等を聞きながら丁寧な説明を行い、新規の設立を推進します。		

8. 主な取組名称②	市民活動に対する支援の充実	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○市民活動支援センターの登録団体が5団体増加し、地域の課題解決に向け、市民活動団体による活動が行われております。 ○行政ポイント制度を平成31年4月から導入し、市民活動への参加を促しました。		
10. 主な課題	○市民活動支援センターの登録団体同士の交流をさらに活発化させ、市民活動の推進を図る必要があります。 ○行政ポイント制度を広く周知する必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○市民活動支援センターにおいて、登録団体同士の交流会を継続して実施するとともに、登録団体向けに団体活動調査を実施し、市民活動の把握を行います。 ○行政ポイント制度を広く周知するため、市民活動団体に対し、活用方法の周知を図ります。 ○市民活動のさらなる活性化及び市民活動団体等の新たな資金源獲得のため、行政ポイント制度に寄附機能を追加します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策03 施策46 質の高い行財政運営の推進	2. 取りまとめ担当課	企画課
--------	---------------------------------	-------------	-----

3. 目標	質の高い行政サービスを提供するため、社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応し、未来を見据えた計画的な行財政運営をめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	実質公債費比率	2.9% (平成29年度決算)	3.3% (平成30年度決算)	3.5% (令和元年度決算)	3.5% (令和2年度決算)		5%以内	
	公営建築物の耐震診断実施率	77% (平成29年度)	82%	82%	96%		100%	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3 当初予算額	R 3 現年予算額	R 3 決算見込額
	庁舎整備事業（計画事業P72、進捗状況○）	11,948	11,660	11,660
	まちづくり支援事業（計画事業P73、進捗状況○）	19,800	19,800	19,800
	庁舎建設基金積立金（計画事業P74、進捗状況○）	1,537	1,759	1,759
	公共施設耐震診断事業（計画事業P75、進捗状況○）	7,000	6,633	6,212
	公共施設解体事業（計画事業P76、進捗状況△）	0	32,940	0
	土地開発公社経営健全化に伴う土地購入（計画事業P77、進捗状況○）	200,000	200,000	199,998
	たちより館管理費	2,955	2,955	1,979
	市有地管理及び登記事務事業費	12,081	13,955	13,945
	財産管理諸経費	105	105	104
	P C B廃棄物処理事業費（計画事業P78、進捗状況○）	205,257	164,206	183,731
	計	460,683	454,013	439,188

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

第2次基本計画（施策）進行管理票

（単位：千円）

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	510,453	324,397	460,683		1,295,533
	決算見込額	443,006	318,150	439,188		1,200,344

8. 主な取組名称①	基本計画事業等の進行管理の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○第2次基本計画に位置付けた施策及び基本計画事業の進行管理を行うとともに、中期財政計画との整合を図り基本計画事業の見直しを行いました。		
10. 主な課題	○施策ごとに設定した指標の達成状況等を踏まえ、必要に応じて施策や事業の見直しを行う進行管理を実施し、着実な事業の推進に努めます。 ○大幅に増大する社会保障関係費や交際費、公共施設の老朽化対策や近年頻発している災害への備えなど、喫緊に取り組むべき課題への対応を行う必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○計画的な行財政運営による事務事業の実効性を高めるため、中期財政計画と連動した基本計画事業等の適切な進行管理を行います。		

8. 主な取組名称②	行政改革の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○行政改革推進計画については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた事務事業が実行できない状況や新しい生活様式に対応するため、第6次行政改革大綱の基本姿勢は維持しつつ、改めて事務事業を見直し、推進項目を50項目から13項目へ絞りました。令和3年度は、業務用スマートフォンの追加導入や申請書などの記入の手間を少なくするため、タブレット端末等を活用した受付手続きなどの導入を進めました。		
10. 主な課題	○増加傾向にある業務に限られた人員と財源で対応していくために、これまでの仕事のやり方を抜本的に変え、併せて財源確保に取り組む必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○限られた人員と財源で効率よく業務を行いながら、急速に進むデジタル化への対応するため、オンライン申請の推進や業務プロセスの見直しを行います。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称③	健全な財政基盤の確立	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○実質公債比率、将来負担比率ともに国の基準を大きく下回っており、財政の健全化が図られています。		
10. 主な課題	○歳入については、根幹をなす市税収入において、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の促進などにより、景気の持ち直しと共に増収が期待されていますが、今後大幅な人口増加が見込めないことや、感染症の再拡大も懸念され、先行きは不透明な状況です。歳出については、少子高齢化による社会保障関係費や公債費の増加に加え、公共施設の老朽化対策、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた新しい生活様式への対応、デジタル化への転換など財政需要の増加が懸念されます。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後、より一層の財源確保に努めることはもとより、市債や基金の適正な管理を徹底し、真に必要な事業を中心に効率化・重点化を図り、計画的に執行します。		
8. 主な取組名称④	組織・人材マネジメントの推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、ICTを活用した職員の生産性の向上と業務の効率化を進めるため、テレワーク環境の整備の充実に取り組みました。		
10. 主な課題	○仕事と生活のバランスが取れる、働きやすい職場づくりを進めるため、継続したテレワークの利用状況や課題点の把握が必要です。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○職員の働く環境の変化や、子育て・介護と仕事の両立等に活用できるよう利用状況の調査や課題の抽出等を実施します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称⑤	公共施設等の総合的な管理の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○庁舎建設基金については、平成24年から取組を開始し、令和3年3月31日現在、約25億6100万円の積立を行いました。 ○令和3年度で期限を迎えた「公共施設再配置計画第1期実行プラン」を総括し、次期計画として「公共施設再配置計画第2期実行プラン」を策定しました。 ○公共建築物の耐震性能を調査するため、令和3年度においては消防署高柳出張所、消防団詰所第5分団2部、及び第8分団7部の耐震診断を実施し、耐震性能が基準を下回ることが確認できました。 ○公有財産を適正に維持管理するため、除草等の業務委託を21件行いました。 ○公有財産のさらなる有効活用を図るべく、8件の市有地売却、140件の賃貸借契約による貸付を行うことにより、より一層の歳入確保に努めました。 ○令和3年度、令和4年度の2か年度で処分を計画していた高濃度PCB廃棄物（安定器）については、計画通り令和3年度分の処理が完了しました。		
10. 主な課題	○現在の仮庁舎の賃貸借期限が令和6年度末であることから、庁舎建設積立基金の取り扱いについて、関係課等と協議し決定しておく必要があります。 ○将来の人口減少社会の到来に備え、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する必要があります。 ○耐震診断を実施した結果、耐震性能が基準を下回る公共建築物については、今後の対応方針を速やかに決定していく必要があり、その中でも老朽化が特に著しい公共建築物については、自然災害などにおいて近隣住民等に被害が発生しないよう応急的な処置を施すなど、適切な維持管理を図っていく必要があります。 ○公有財産の維持管理においては、維持管理における除草等に要する費用の削減が求められるとともに、効果的かつ安定的な歳入確保を図る必要があります。 ○本市が保管している高濃度PCB廃棄物については、政令において定められた処理期限である令和4年度末までに処理する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和2年度に引き続き令和3年度の積み立ては、財政状況を考慮し、定期預金のみとなっています。当該基金の今後の取り扱いについては関係課等と協議を行っていく必要があります。 ○持続可能な行政サービスの提供と、将来に負担を残さない行財政運営に向け、「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再配置計画」に基づき、将来の維持管理が適切に行える保有総量にすることを目標に計画的に各施設の再編等を進めます。 ○耐震性能の有無を確認するため、引き続き公共建築物の耐震診断を実施するとともに、耐震性能が基準を下回る公共建築物については解体及び耐震補強等の実施など、今後の対応方針を検討していきます。 ○老朽化が特に著しい公共建築物については、随時状況確認を行うとともに、自然災害時などに近隣住民等に被害が発生しないよう応急的な処置も検討していきます。 ○公有財産の維持管理においては、不動産市場動向などの情報収集に努めるとともに、定期的な現地調査を行うことにより、公有財産の売却候補地や貸付候補地の選定を行うなど、効果的な処分及び効率的な有効活用を推進していき、さらなる維持管理費の削減及び歳入確保を図ります。 ○高濃度PCB廃棄物については、政令で定められた処理期限である令和4年度末までの処理完了をめざします。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策04 施策47 広域行政の推進	2. 取りまとめ担当課	企画課
--------	----------------------------	-------------	-----

3. 目標	今後の人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能な行財政運営のもと、多様化している行政需要に適切に対応するため、一部事務組合で共同処理している事務のあり方を検討するとともに、他の自治体との効率的な広域連携の推進により、市民サービスの維持や効率化をめざします。																								
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ																	
	君津地域4市の広域的な連携や共同処理による事務の見直し	未実施 (平成30年度)	1 件	0 件	0 件		3 件以上 (累計)	<table><caption>実績値と目標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>R2</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>R3</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>R4</td><td>1</td><td>3</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	H30	0	0	R1	1	1	R2	1	2	R3	1	2	R4	1
年度	実績値	目標値																							
H30	0	0																							
R1	1	1																							
R2	1	2																							
R3	1	2																							
R4	1	3																							

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	計	0	0	0

7. 施策目標の達成（進捗）状況
C

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	0	0	0		0
	決算見込額	0	0	0		0

8. 主な取組名称①	一部事務組合による効率的な事務処理の推進	12. 取組（進捗）状況	C
9. 主な成果	○君津都市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討する中で、救急急病医療事業などの管理運営について、関係市との事業検討は行っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、関係機関との協議に進展がない状況です。 ○本市が君津都市夜間急病診療所の新たな設置者となり、運営は君津木更津医師会へ委託する方向性について、四市で合意をしました。		
10. 主な課題	○関係機関との調整に時間を要するため、引き続き、君津都市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討していく必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○効率的、効果的な行財政運営に向け、引き続き、君津都市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を関係機関と協議します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称②	広域連携の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○公共施設の広域連携に関する会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、会議開催に至らなかったため進捗していない状況です。 ○広域廃棄物処理施設については、現在実施している君津地域廃棄物処理事業が令和8年度に事業終了を迎えるにあたり、君津地域4市と安房地域2市1町が令和9年度を始期とする次期処理施設の供用開始に向け取り組んでいます。 ○火葬場事業については、君津地域4市による共同事業として広域によるスケールメリットを活かした効率的な火葬場の共同整備を行っており、令和4年12月からの施設供用開始に向け、準備を進めています。		
10. 主な課題	○今後の人口減少・少子高齢化を踏まえ、近隣市と連携し、公共施設の共同利用等に向けた取組を行う必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○老朽化している公共施設等の更新など、今後も財政需要の増大が見込まれることから、君津地域4市による広域連携に係る意見交換会や公共施設の広域連携に係る連絡会議などの機会を通じ、広域での共同利用、ひいては共同建設に向けた取組を検討します。		

第2次基本計画（施策）進行管理票

1. 施策名	基本方向06 基本政策05 施策48 ICT活用の推進	2. 取りまとめ担当課	経営改革課
--------	-----------------------------	-------------	-------

3. 目標	ICTを活用することで、市民ニーズに対応した行政サービスを、いつでも、どこでも、だれでも享受できる環境づくりに努めるとともに、迅速かつ正確で、効率的な行政運営の実現を図ることで、より便利で住みやすいまちづくりをめざします。							
4. 施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1実績値	R 2実績値	R 3実績値	R 4実績値	目標値	グラフ
	公開オープンデータ数	3個 (H30年度)	5個	5個	7個		11個	
	ICTの新規導入により業務の効率化が図れた事務事業の件数	1件 (H30年度)	1件	3件	3件		7件	

(単位：千円)

5. 施策達成のために要した事業費	事業名	R 3当初予算額	R 3現年予算額	R 3決算見込額
	地域ICT推進会議運営事業費	174	162	92
	ICT等導入事業費（計画事業P79、進捗状況○）	10,852	49,060	47,597
	スマート窓口導入事業費	35,101	35,101	33,550
	デジタルサービス推進事業（計画事業P80、進捗状況○）	18,480	0	18,480
	ICT技術を活用した電子納付推進事業（計画事業P81、進捗状況○）	7,000	5,445	5,445
	計	71,607	89,768	105,164

7. 施策目標の達成（進捗）状況
B

(単位：千円)

6. 毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	当初予算額	28,156	6,174	71,607		105,937
	決算見込額	18,755	4,536	105,164		128,455

第2次基本計画（施策）進行管理票

8. 主な取組名称①	地域情報化の推進	12. 取組（進捗）状況	B
9. 主な成果	○「木更津市第3次地域情報化推進プラン」に位置付けた各取組についての進行管理や情報化に関する取組を新たに位置付け、地域情報化へ向けた取組を進めました。 ○「木更津市第3次地域情報化推進プラン」を継承し、地域情報化の内容に加え、行政のデジタル化も含めた木更津市DX推進計画を策定しました。 ○公開しているオープンデータを更新するとともに、新たなデータを公開することで、民間企業等のデータ活用に向けた取組を進めました。 ○デジタルサービス推進事業については、富来田地区において、高齢者を対象にタブレット端末とアプリケーション「ライフビジョン」を活用した実証実験を行い、分かりやすく、的確に情報を伝えるとともに、安否確認も行える等の有効性が確認されました。		
10. 主な課題	○オープンデータの活用に向けた需要喚起の手法について検討する必要があります。 ○タブレット端末やアプリケーションは、高齢者に対するコミュニケーションツールとして見守りや防災以外の情報伝達にも活用することが可能であり、導入効果は大きいものと考えられるため、検討する必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○民間企業等のデータ活用に向け、公開データの拡充や効果的な情報発信等の普及啓発方法について検討します。 ○木更津市DX推進計画に基づき、木更津市DX推進ネットワーク本部やCIO補佐の意見を踏まえ、全庁を挙げ行政手続のデジタル化や地域のデジタル化について取り組みます。 ○タブレット端末というツールの特性及びアプリケーション「ライフビジョン」が、特に高齢者等に対する情報伝達・収集に適したアプリケーションであることから、主に高齢者を対象とした行政サービスの提供手段として活用し、本取組を高齢者等へのサービス提供の手段とすることを主たる目的と位置付け、福祉分野で事業の推進を図ります。		
8. 主な取組名称②	電子市役所の推進	12. 取組（進捗）状況	A
9. 主な成果	○転入、転出、転居手続きにおいて、自宅等から自身のスマホ等で手続内容を入力することでQRコードが発行され、それを持って市民課窓口で手続きすることで、必要事項がデータで取り込まれ受付時間短縮や入力データ誤りを低減できる、スマート窓口システムを導入しました。また、市民課以外の申請書類にも必要事項を印字し市民に配布できるため、関係課での記入時間の短縮も図ることができます。 ○令和3年度は5課6業務に対して、AI-OCR、RPAを導入し、ICTを活用した業務の効率化を図りました。 ○令和3年10月1日よりアクアコインによる納税を開始した結果、令和3年度は57件の利用がありました。		
10. 主な課題	○令和4年度春のスマート窓口システム本格稼働のため、現時点での課題はありませんが、運用する中で、課題が発生した際には解決に向け対応します。 ○AI-OCRによる文字の認識率の精度の差や担当課が導入する際の確認作業の増加等が発生するため、それを見越した業務工程の見直しが必要となります。 ○アクアコインをより多くの方に利用してもらうよう、広報誌やデジタルサイネージ等を活用するとともに君津信用組合と連携し、更なる周知を行う必要があります。		
11. 主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○スマート窓口システム運用にあたり、課題が発生した際には関係課と協議します。 ○ICTの活用による業務効率化を図るために、業務工程の見直しを各課等に実施してもらったうえで、AI-OCR、RPAを適切に導入します。		